

平成30年度

琉球大学大学院 人文社会科学研究科

〔博士前期課程〕
〔博士後期課程〕

学生募集要項

[博士前期課程]

10月募集（総合社会システム専攻，人間科学専攻，国際言語文化専攻）

出願期間	平成29年8月24日（木）～平成29年9月1日（金）
試験日	平成29年9月30日（土）
合格発表	平成29年10月18日（水）

3月募集（総合社会システム専攻，人間科学専攻，国際言語文化専攻）

出願期間	平成30年1月31日（水）～平成30年2月7日（水）
試験日	平成30年3月3日（土）
合格発表	平成30年3月15日（木）

[博士後期課程]

比較地域文化専攻

出願期間	平成30年1月15日（月）～平成30年1月19日（金）
試験日	平成30年2月10日（土）
合格発表	平成30年2月23日（金）



国立大学法人 琉球大学

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL 098-895-8184

FAX 098-895-8187

目 次

博士前期課程

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
研究科案内	1
1 募集人員	3
2 出願資格（10月募集及び3月募集）	3
3 出願資格の認定について（10月募集及び3月募集）	4
4 出願手続	5
5 受験・修学上の特別措置	5
6 出願書類（10月募集及び3月募集）	6
7 検定料振込等について	7
8 選抜方法及び試験科目（10月募集及び3月募集）	8
9 試験期日及び試験場	9
10 合格発表	10
11 入学手続（10月募集及び3月募集）	10
12 入学料及び授業料	10
13 試験科目等（10月募集）	11～13
14 試験科目等（3月募集）	14～16
[出願所定用紙]	

博士後期課程

○入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
専攻案内	17
1 募集人員	19
2 出願資格	19
3 出願資格の認定について	20
4 出願手続	20
5 受験・修学上の特別措置	20
6 出願書類	21
7 検定料振込等について	22
8 選抜方法	23
9 試験期日及び試験場	23
10 合格発表	23
11 入学手続	24
12 入学料及び授業料	24
13 授業科目及び授業科目の内容	25
[出願所定用紙]	

その他

- 東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について（出願所定用紙参照）
- 試験会場案内図
- 試験場案内図

受験に関する問い合わせ先及び学生募集要項等請求先

琉球大学法文学部・観光産業科学部 学務担当

〒903—0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL 098—895—8184 (直通) FAX 098—895—8187

E-mail hbgakmu@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学法文学部ホームページ <http://www.ll.u-ryukyu.ac.jp/>

琉球大学入試課ホームページ <http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/index.html>

注：大学院人文社会科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）学生募集要項の郵送を希望する場合は、封筒の表に『大学院人文社会科学研究科学生募集要項請求』と朱書きし、『受信先を明記し下記切手を貼った返信用封筒（角型2号 タテ33cm×ヨコ24cm）』を同封して請求してください。

380円（普通）、760円（速達）

(博士前期課程)

総合社会システム専攻

人間科学専攻

国際言語文化専攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【博士前期課程】

総合社会システム専攻

総合社会システム専攻は、法学、経済学、経営学、政策科学の領域に属する社会の様々な問題に対する強い興味と関心を抱き、自らその問題の解明に向かって研究し、その研究の過程で培われた能力を実社会の中で発揮していく人を求めています。また現在、それぞれの分野で活躍し、その職業遂行の中で発見した課題を追求するために本専攻で勉学しようとする向学心を持つ社会人も、おおいに歓迎しています。

人間科学専攻

人間科学専攻は、人間行動、人間社会、歴史学・人類学、島嶼研究、臨床心理学等の諸科学に強い興味と関心を抱き、人間関係の複雑化や価値観の多様化、グローバルな社会変動、環境問題等の諸現象に対する高度な分析と実践的判断を志向する人を求めています。また、研究職を含む高度専門職業人を目指す留学生や、キャリアアップを図る社会人も求めています。

国際言語文化専攻

国際言語文化専攻は、琉球アジア及び欧米の歴史・文学・言語、あるいは言語コミュニケーションの分野に強い関心を抱き、本専攻に属するところの専門科学の方法を身に付け、地域社会や国際社会において実践的に活動したいと願う人を求めています。また、キャリアアップを図り、異文化理解を深めたいと希望する社会人や留学生を積極的に受け入れます。

研究科案内(博士前期課程)

1. 目的

本研究科は、人文社会科学の分野における専門職業人の育成並びに有職者の再教育を含む生涯教育を推進し、併せて沖縄の地理と歴史から見て、琉球大学において行うにふさわしい研究の発展に寄与することを目的とします。

上記目的達成のため、特に入試及び履修方法につき社会人向けの特別な制度を設けています。

2. 組織と特徴

人文社会科学研究科(博士前期課程:定員45名)は、教育研究の充実と社会の要請にこれまで以上に適切に応えるために、法文学部の3学科を基盤にそれぞれに対応させて、「総合社会システム専攻」、「人間科学専攻」、「国際言語文化専攻」の3専攻体制で統合的・学際的な教育研究を行っています。

総合社会システム専攻(定員17名):実務法学、経済システム(経済学専修コース・政策評価実践コース)、経営管理、政策科学の分野の総合的・学際的な教育研究を通して、現代社会における法律、経済、経営、政策・国際関係等に関する諸問題を総合的に理解し、高度な問題発見・処理能力、企画立案能力を備えた有為な人材の養成を行います。

人間科学専攻(定員16名(うち臨床心理学教育研究領域5名)):人間行動(哲学・倫理学、教育学)、人間社会(社会学、社会福祉学、マス・コミュニケーション)、歴史学・人類学(日本史、東洋史、西洋史、社会人類学、民俗学、考古学)、島嶼研究(島嶼地理学、島嶼環境学、島嶼経済学)、臨床心理学等の諸科学を体系的、融合的に教育研究することにより、国際化、高度情報化等に伴って生じる人間関係の複雑化や価値観の多様化、少子高齢化、地球規模の環境破壊等の諸状況に柔軟に対応しうる、高度な社会的・文化的分析能力と実践的判断能力を有し、島嶼社会の持続的発展に寄与しうる高度専門職業人の養成を行います。

国際言語文化専攻(定員12名):東洋と西洋の言語、文学、歴史、文化、言語コミュニケーション等の諸学問分野を有機的に連携させた学際的な教育研究を行い、グローバルな視点で諸問題に取り組み解決する能力を有し、地域社会はもとより、国際社会でも活躍しうる高度専門職業人及び研究者の養成を行います。

3. 標準修業年限 : 2年

4. 履修方法

(1) 修士論文を選択する者にあつては、必修科目8単位、選択科目14単位以上、自由科目8単位以上合計30単位以上を、特定課題研究を選択する者にあつては、必修科目8単位、選択科目18単位以上、自由科目10単位以上合計36単位以上を修得しなければなりません。

ただし、政策科学、人間社会、歴史学・人類学、島嶼研究、琉球アジア文化、言語コミュニケーションの各教育研究領域においては学位論文による履修方法のみとします。また、経済システム教育研究領域政策評価実践コースにおいては、特定課題研究による履修方法のみとします。

さらに、臨床心理学教育研究領域においては、学位論文による履修方法のみとし、必修科目28単位、選択科目10単位以上、自由科目2単位以上合計40単位以上を修得しなければなりません。

(2) 社会人特別入試制度により入学した者(社会人)の履修上の便宜を図るための履修方法は以下によります。

① 通常の時間帯のほか、特例による授業時間帯をもうけ、2年間の全期間にわたって、特例による授業時間帯において課程修了に必要な単位を履修できます。

② 特例による授業時間帯は、原則として夜間の第6、7時限(18時~21時10分)に設定する。場合によっては、土曜日及び特定の時期に設定することもあります。

- (3) 社会人学生以外の一般学生で、指導教員が必要と認めたものについては、上記特例に基づいて開講される授業科目を履修し、課程修了に必要な単位に含めることができます。

5. 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の2年間（4学期）の総額を在学期間で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、事前に希望指導教員に長期履修の必要性を説明し、履修計画を相談した後、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

6. 個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

* 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、又は第三者に提供することはありません。

平成 30 年度琉球大学大学院人文社会科学研究所 (博士 前期 課程) 学 生 募 集 要 項

1. 募集人員

専攻名	10月募集	3月募集
総合社会システム専攻 17名	10名 (社会人及び外国人留学生を含む)	7名 (社会人及び外国人留学生を含む)
人間科学専攻 16名 うち臨床心理学教育研究領域5名	8名 うち臨床心理学教育研究領域3名 (社会人及び外国人留学生を含む)	8名 うち臨床心理学教育研究領域2名 (社会人及び外国人留学生を含む)
国際言語文化専攻 12名	7名 (社会人及び外国人留学生を含む)	5名 (社会人及び外国人留学生を含む)

《注》 志願者は、10月募集及び3月募集のいずれか、又は両方を受験することができます。

2. 出願資格 (10月募集及び3月募集)

《A. 一般選抜》

一般選抜の入学試験を受けられるのは、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者又は平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) 第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者 (大学評価・学位授与機構から学位を授与された者を含む) 又は平成 30 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程 (修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者 (昭和 28 年文部省令告示第 5 号)
- (8) 「大学に 3 年以上在学した者」(※1, 4 ページ 3(1)参照), 又は「外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者」(※2, 4 ページ 3(1)参照) で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院において認めた者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの又は平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの (5 ページ 3(2)参照)

《B. 社会人特別選抜》

社会人特別選抜の入学試験を受けられるのは、一般選抜の出願資格のいずれかの資格を取得してから、大学院入学までに 3 年以上社会人としての経験を有する者としてします。

《C. 外国人留学生特別選抜》

外国人留学生特別選抜の入学試験を受けられるのは、次の各号のすべてに該当する者としてします。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 次のいずれかの要件をみたす者
 - ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（平成30年3月までに修了する見込みの者を含む）又は当該国の教育官庁が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学又は国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員、科目等履修生等として、大学院入学までにおおむね1年以上研究に従事した者（その見込みの者を含む）
- (3) 「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる者
- (4) 修学に必要な日本語の能力を有する者

3. 出願資格の認定について（10月募集及び3月募集）

（1）次の出願資格に該当する者は、次の条件を満たす者とする。

事 項	出 願 資 格 A. 一般選抜（8） 「大学に3年以上在学した者」(※1)	出 願 資 格 A. 一般選抜（8） 「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」(※2)
①在学期間について	平成30年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること。 (休学期間は、在学期間に含まない)。	平成30年3月末において、15年の課程を修了していること。
②学業成績について	出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、 <u>80点以上の修得単位が4/5以上であること。</u> なお、入学試験に合格した後、平成30年3月末までに、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部を修得し、修得した選択科目を含め卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得し、80点以上の修得単位が4/5以上得られないことが確定した場合、入学を許可しません。	次の一つに該当すること。 a 出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、80点以上の修得単位が4/5以上であること。 なお、入学試験に合格した後、大学修了時に80点以上の修得単位が4/5以上得られないことが確定した場合、入学を許可しません。 b 15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする。）研究に従事しており、平成30年3月31日までに22歳に達するもの。
③出願手続	本募集要項に記載している書類の他に次のものを提出してください。 a 在学証明書 (卒業見込証明書は不要) b 学生便覧又は履修手引き (授業内容一覧が記載されたもの)	本募集要項に記載している書類の他に、平成30年3月までに修了見込みの者は、次のものを提出してください。 a 在学証明書（卒業見込証明書は不要） b 学生便覧又は履修手引き (授業内容一覧が記載されたもの)
④注意事項	本出願資格により入学した場合、大学を卒業したものとは認められません。したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は、受験できない場合がありますのでご留意ください。	—

(2) 出願資格A.一般選抜(10:個別入学資格審査)に該当する者

事項	摘要
該当者	主に短期大学, 高等専門学校, 専修学校の卒業生など, 大学の卒業資格を有していない者
事前審査の出願手続き	出願に先立って, 指定の期日までに次の書類を提出すること。 10月試験:平成29年8月18日(金) 3月試験:平成30年1月12日(金) ただし, 持参する場合は土・日曜日及び祝日を除く ① 入学資格個別審査申請書(本学所定の用紙) ② 出願理由書(本学所定の用紙) ③ 経歴書(本学所定の用紙) ④ 最終学校の成績証明書 ⑤ 最終学校の卒業(修了)証明書又は在籍証明書 ⑥ 返信用封筒 返信先を明記し, 362円分の切手を貼った返信用封筒(長形3号)

4. 出願手続

(1) 出願期間

10月募集:平成29年8月24日(木)~9月1日(金)までに必着

3月募集:平成30年1月31日(水)~2月7日(水)までに必着

(2) 出願方法 : 出願書類を「書留速達」で所定の期間内に郵送してください。

(3) 出願書類請求及び提出先 : 琉球大学法文学部・観光産業科学部学務担当

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話:098-895-8184 FAX:098-895-8187

◎出願書類を郵便で請求するときは「大学院出願書類」と朱書した返信用封筒(角2号)を同封し, 400円分の切手(普通)か780円分の切手(速達)を貼付してください。

(4) 注意事項

- (1) 出願後は, いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (2) 本研究科の選抜方法に関して照会する場合は, 上記(3)に問い合わせてください。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は, 入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

5. 受験・修学上の特別措置

本研究科に入学を志願する者で, 身体障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める程度の障がい)又は発達障がい(発達障害者支援法第2条第1項に定める程度の障がい)を有する者, その他疾病・負傷等により受験上又は修学上の特別措置を必要とする者は, あらかじめ法文学部・観光産業科学部学務担当に申し出てください。

なお, 特別措置の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので, できる限り早めに申し出てください。

また, 上記申し出に基づき書面による相談が必要となった場合は, 以下によってください。

①相談の時期:10月募集 平成29年8月14日(月)まで

3月募集 平成29年12月11日(月)まで

②相談の方法:別添様式による相談申請書(健康診断書等添付)を提出することとし, 必要な場合は, 本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行いません。

6. 出願書類（10月募集及び3月募集）

出願書類等	適 要	一般 選 抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生 特別選抜
① 入学志願票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入	○	○	○
② 受験票・写真票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入し、写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のもの（縦4cm×横3cm）を貼付	○	○	○
③卒業（見込）証明書	出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成したもの	○	○	○
③ 成績証明書	出身大学等の学部長（学長等）が作成し、厳封したもの	○	○	○
⑤研究計画概要	「本学所定の用紙」を用いること。 志望する教育研究領域に属する専門科目に即したテーマによること	○ ※注意事項 オ	○ ※注意事項 オ	○
⑥業績報告書	卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者のみ、その概要を「本学所定の用紙」にまとめて提出すること	※注意事項 エ	該当者	※注意事項 エ
⑦受験承諾書	官公庁・会社等に在職のまま、本学大学院に入学しようとする者のみ、本学所定の用紙により提出	該当者	該当者	該当者
⑧日本語力調査書	「本学所定の用紙」を用いること	/	/	○
⑨「住民票」の写し及びパスポートの写し	現に日本国に在住している外国人は市区町村長発行の記載事項の内容が省略されていないもので、出願前1か月以内に交付されたもの	該当者	/	○
⑩検定料納付証明書（大学用）	入学検定料の振り込みについては「7. 検定料振込等について」を参照	○	○	○
⑪志願者整理票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入すること	○	○	○
⑫受験票等送付用封筒	「本学所定の用紙」に362円分の切手を貼付宛名に「郵便番号、住所、氏名」を明記	○	○	○
※ 注意事項	10月募集	<p>ア. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者は、最終学校の成績証明書及び卒業（修了）証明書を添付すること。</p> <p>イ. 外国語の証明書には日本語の訳文をつけること。</p> <p>ウ. 入学検定料は、日本政府（文部科学省）奨学金による外国人留学生については、必要としない。この場合、国費の留学生であることの証明書を添付すること。</p> <p>エ. 歴史学・人類学教育研究領域を一般選抜、外国人留学生特別選抜で志願する者で、出願時までに研究・卒業論文など実績を有する者は、日本語で記述した業績報告書を提出すること。</p> <p>オ. 経済システム教育研究領域で研究レポートを提出した者は、「研究計画概要」を提出する必要はありません。</p>		
	3月募集	<p>ア～オ は10月募集と共通</p> <p>カ. 総合社会システム専攻各教育研究領域（実務法学・経済システム・政策科学）を志望する場合は、面接の参考資料として、「卒業論文」ないしそれに準ずる論文等を提出することができます《コピー可》。</p>		

7. 検定料振込等について

(1) 検定料 30,000 円 (別添「検定料振込書」を使用してください。)

検定料振込期間

(2) 振込期間

10月募集：平成29年8月17日(木)～9月1日(金)

3月募集：平成30年1月24日(水)～2月7日(水)

(3) 振込方法

ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日, 入学志願者氏名(フリガナ), 住所, 電話番号, 振込先(枠内に○印)》

イ. 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振り込み, ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。

ウ. 振込手数料については, 志願者本人負担となります。

エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は, 取扱金融機関収納印を確認してください。

オ. 「検定料納付証明書(大学用)」は**出願書類に同封して提出**してください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は, 各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込依頼人氏名は, 先に募集区分(人文社会科学研究科博士前期課程は411), 次に志願者本人氏名としてください。

例 411 ダイガク タロウ

振込先口座, 金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書(大学用)」の代わりに提出してください。

【外国からの銀行振込の場合】

検定料の振込先をお知らせします。外国から振り込む際は円建てで振り込ませてください。

※なお, 外国送付にかかる一切の手数料(振込手数料, 経由銀行手数料等)は振込人本人の負担とします。

受取人 大学名 University of the Ryukyus
住所 1 Senbaru, Nishihara Okinawa, Japan
銀行名 Bank of the Ryukyus
Branch Office: (支店名) :Ginowan
Account No: (口座番号) :428711
SWIFT コード : RYUBJPJZ

住所 : 1-5-3 Ginowan, Ginowan Okinawa, Japan

電話番号 : (098) 893-2231

《留意事項》

ア. 検定料が振り込まれていない場合, 「検定料納付証明書(大学用)」が出願書類に同封されていない場合, 「検定料納付証明書(大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は, 出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き, いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を振り込んだものの, 出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり, 書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)

② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合

③ 特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合

※上記①, ②に該当する場合は, 本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し, 払い戻し理由を選択, 氏名欄へ押印のうえ, 「検定料納付証明書(大学用)」を同封して下記へ送付してください。

※封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

※返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は, 振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受領後2～3ヶ月程度かかります。

送付期限：平成30年3月30日(金)

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098-895-8058

※上記③に該当する場合は返還手続(東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について参照)を行ってください。

8. 選抜方法及び試験科目（10月募集及び3月募集）

A. 一般選抜

筆記試験（試験科目は、11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり）、面接、成績証明書等の各結果を総合して判断します。

B. 社会人特別選抜

筆記試験（試験科目は、11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり）、面接、成績証明書等の各結果を総合して判断します。

C. 外国人留学生特別選抜

筆記試験（試験科目は、11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり）、面接、成績証明書等の各結果を総合して判断します。

* 面接では、志望する教育研究領域に関する専門知識について聞くこともあります。

9. 試験期日及び試験場 《10月募集》

期 日	試験場	科 目	時 間	摘 要
平成29年 9月30日 (土)	法文学部・ 観光産業科 学部棟 〔試験室は 別途指定〕	日本語共通試験	9:00～10:40	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
		外国語科目	9:00～10:40	一般選抜の受験者のみ
		専門科目	11:10～12:50	全 員 ○経済システム教育研究領域を研究レ ポートで受験する者については、専門 科目の時間に研究レポートについての 面接を行います。
		面 接	14:30～	全 員 ○ただし、経済システム教育研究領域 を研究レポートで受験する者は除く。 ○実務法学教育研究領域を研究レポ ートで受験する者については、面接時に 口頭試問を行います。

《注1》10月渡日の国費研究留学生については、3月募集に入学試験を実施します。

《注2》筆記試験の解答にはシャープペンシル・鉛筆のみ使用可能とし、ボールペンは使用不可とします。

《注3》欧米文化教育研究領域及び言語コミュニケーション教育研究領域を除く外国語科目は、「辞書」を貸与します。

《注4》実務法学教育研究領域の専門科目は、「小六法」を貸与します。

《注5》10月募集については、台風に備え、10月14日(土)を予備日とします。

《3月募集》

期 日	試験場	科 目	時 間	摘 要
平成30年 3月3日 (土)	法文学部・ 観光産業科 学部棟 〔試験室は 別途指定〕	日本語共通試験	9:00～10:40	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
		外国語科目	9:00～10:40	一般選抜の受験者のみ
		専門科目	11:10～12:50	全 員 ○実務法学教育研究領域を研究レポ ートで受験する者については、専門科目 の時間に口頭試問と面接を行います。 ○経済システム教育研究領域を研究レ ポートで受験する者については、専門 科目の時間に研究レポートについての 面接を行います。
		面 接	14:30～	全 員 ○ただし、実務法学教育研究領域及び 経済システム教育研究領域を研究レポ ートで受験する者は除きます。 ○政策科学教育研究領域は、面接時に 研究論文の内容についての口頭試問を 行います。

《注1》10月渡日の国費研究留学生については、3月募集に入学試験を実施します。

《注2》筆記試験の解答にはシャープペンシル・鉛筆のみ使用可能とし、ボールペンは使用不可とします。

《注3》欧米文化教育研究領域及び言語コミュニケーション教育研究領域を除く外国語科目は、「辞書」を貸与します。

10. 合格発表

午後 4 時に本学文系総合研究棟に掲示・合格者へ通知します。

(1) 10 月募集 : 平成 29 年 10 月 18 日 (水)

(2) 3 月募集 : 平成 30 年 3 月 15 日 (木)

11. 入学手続 (10 月募集及び 3 月募集)

入学手続期間 : 平成 30 年 3 月 26 日 (月) ~ 3 月 27 日 (火)

〈外国人留学生は、平成 30 年 3 月 22 日 (木) ~ 3 月 27 日 (火)〉

入学手続については、合格者あて別途通知します。

12. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は合格者あて別途通知します。

入 学 料 282,000 円 (予定額)

授業料 (前期分) 267,900 円 (予定額)

(年 額) 535,800 円 (予定額)

- (注) ① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
- ② 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。
- ③ 入学料の免除又は徴収猶予あるいは、授業料の免除を希望する者 (対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。) は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

専攻	教育研究領域	試 験 科 目			
		専 門 科 目	外 国 語 科 目	日 本 語 共 通 試 験	
総 合 社 会 シ ス テ ム テ ー ム 専 攻	実務法学	行政法 刑法 国際法 社会保障法	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて、研究レポートを提出することができる(注3参照)。 C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独 語 仏 語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
		理論経済学 金融論 財政学 計量経済学 国際経済学 環境経済学	A 一般選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて、研究レポートを提出することができる(注3参照)。 B 社会人特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて、研究レポートを提出することができる(注3参照)。 C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独 語 仏 語, 中国語, 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	経営管理	経営学 税法 マーケティング	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独 語 仏 語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
		政治学 国際関係論	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独 語 仏 語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜

注1 専門科目については、志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2 「外国語」とは母語以外の言語を指します。

注3 実務法学及び経済システム教育研究領域の「研究レポート」とは、研究科入学後の主たる研究テーマについて、その目的(動機)と内容をまとめたものをいう。研究レポートは、ワープロを用いてA4サイズの用紙(1行40字、36行の横書き)6~8枚にまとめる。但し、図及び表は別途に扱うものとします。なお、郵送の場合は、必ず書留又は簡易書留とし、平成29年9月1日(金)必着とします。

(別掲)

15. 試験科目等

《10月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目		
		専門科目	外国語科目	日本語共通試験
人間行動 人間社会 科学 専攻	哲学・倫理学 教育学	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	社会学 家族社会学 国際社会学 社会福祉学 マスコミ学	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	歴史学 日本社会史 西洋人類学 社会人類学 考古学 民俗学	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者は「日 本語」を選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	島嶼地理学 島嶼環境学	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, スペイン語 中国語, 韓国語 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	臨床心理学	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)。	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, スペイン語 中国語, 韓国語 日本語 ※ 外国人受験者も上記 外国語科目の中から 1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜

注1 専門科目については、志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2 臨床心理学の専門科目には心理学一般の問題も含まれます。

注3 「外国語」とは母語以外の言語を指します。

(別掲)
15. 試験科目等

《10月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目	外国語科目	日本語共通試験	
国際文化	日本文学	A 一般選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択)	C 外国人留学生特別選抜	
	琉球文学	B 社会人特別選抜 (1科目選択)	英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語		
	琉球関係史	C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。		
言語文化	イギリス文学	A 一般選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択)	C 外国人留学生特別選抜	
	アメリカ文学	B 社会人特別選抜 (1科目選択)	英語, 独語 仏語, 日本語		
	欧米文化	C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。		
専攻	コミュニケーション学	A 一般選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択)	C 外国人留学生特別選抜	
	応用言語学・第二言語習得	B 社会人特別選抜 (1科目選択)	英語, 独語 仏語, スペイン語 日本語		
	英語教育	C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。		

注1 専門科目については、志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2 「外国語」とは母語以外の言語を指します。

(別掲)

16. 試験科目等

《3月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目	外国語科目	日本語共通試験	
総合社会システム	実務法学	行政法 刑法 国際社会 社会保障法 民法	A 一般選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。 B 社会人特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。 C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	経済システム	理論経済学 金融論 財政学 計量経済学 国際経済学 環境経済学	A 一般選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて, 研究レポートを提出することができる(注3参照)。 B 社会人特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて, 研究レポートを提出することができる(注3参照)。 C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語, 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	経営管理	経営学 税法 マーケティング	A 一般選抜 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜
	政策科学	政治学 国際関係論	A 一般選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて, 研究論文を選択することができる(注4参照)。 B 社会人特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて, 研究論文を選択することができる(注4参照)。 C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択) ※ 専門科目に代えて, 研究論文を選択することができる(注4参照)。	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C 外国人留学生特別選抜

注1 専門科目については、志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2 「外国語」とは母語以外の言語を指します。

注3 実務法学・経済システム教育研究領域の研究レポートとは、研究科入学後の主たる研究テーマについて、その目的(動機)と内容をまとめたものをいう。研究レポートは、ワープロを用いてA4サイズ用の紙(1行40字、36行の横書き)6~8枚にまとめる。ただし、図及び表は別途に扱うものとします。なお、郵送の場合は、必ず書留又は簡易書留とし、平成30年2月7日(水)必着とします。

注4 政策科学教育研究領域の研究論文とは、大学において提出した卒業論文、又はそれに相当する論文等のことです。研究論文の原本の複写を出願期間内(平成30年1月31日(水)~2月7日(水))に提出すること。提出された研究論文に対して面接時に口頭試問を行います。

(別 掲)

16. 試験科目等

《3月募集》

専攻	教育研究領域	試 験 科 目			
		専 門 科 目	外国語科目	日本語共通試験	
国際 言 語 文 化 専 攻	琉球文化	日本文学 A 一般選抜 沖縄文学 (1科目選択) 琉球史 B 社会人特別選抜 中琉関係史 (1科目選択) 琉球文学 C 外国人留学生特別選抜 日本語学 (1科目選択) 琉球語学 中国語学 琉球民俗学 朝鮮文学	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 中国語 韓国語, 日本語	C 外国人留学生特別選抜 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	
	欧米文化	イギリス文学 A 一般選抜 アメリカ文学 (1科目選択) B 社会人特別選抜 (1科目選択) C 外国人留学生特別選抜 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, 日本語	C 外国人留学生特別選抜 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	
	言語コミュニケーション	コミュニケーション学 A 一般選抜 応用言語学・第二言語習得 (1科目選択) 英語教育 B 社会人特別選抜 社会言語学・言語政策 (1科目選択) 英語学 C 外国人留学生特別選抜 言語学 (1科目選択)	A 一般選抜 (1科目選択) 英語, 独語 仏語, スペイン語 日本語	C 外国人留学生特別選抜 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	

注1 専門科目については、志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2 「外国語」とは母語以外の言語を指します。

(博士前期課程)

10月募集の出願書類所定用紙

下記の出願書類が添付されていますので、確認してください。

1. 入学志願票
2. 受験票 (受験心得)
3. 写真票
4. 研究計画概要
5. 業績報告書
6. 受験承諾書
7. 日本語力調査書
8. 相談申請書
9. 入学資格個別審査申請書
10. 出願理由書
11. 経歴書
12. 東日本大震災及び熊本地震により被災した志願者の検定料に関する特例措置について
13. 検定料免除申請書
14. 返還金払戻請求書
15. 検定料振込書
16. 志願者整理票
17. 受験票等送付用封筒
18. 出願書類提出用封筒

出願書類は、ミシン目から丁寧に切り離してください。

受験番号		※		一般，社会人 外国人留学生	
平成30年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所（博士前期課程）入学志願票（10月募集）					
フリガナ				国籍名 (外国籍を持つ者)	専攻
氏名					専攻
生年月日	昭和・平成	年	月	日	(満才) 平成30年4月1日現在 男・女
現住所	〒 - 携帯電話： メールアドレス：				(経済システム領域については、志望コース)
※大学から緊急連絡がある場合の 連絡先を記入する。上記と同じ 場合は、記入しなくてもよい。		〒 - TEL メールアドレス：			
受験科目	専門科目			外国語科目	
本人以外 連絡先	氏名 現住所 TEL				志願者との続柄 ()
出願資格	立 大学 学部 学科 昭和・平成 年 月卒業 (卒業見込)				
履 歴					
学 歴	年	月	日		
卒 高 業 等 以 学 上 校	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
職 歴	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
上記のとおり相違ありません。					
平成 年 月 日 氏名 ㊟					

- 備考 (1) 記入の際は、本募集要項熟読の上、記入漏れのないようにすること。
(2) 「一般，社会人，外国人留学生欄」(右上)は、該当する選抜に○をつけること。
(3) ※印欄は、記入しないこと。
(4) 黒のボールペンを使用し、楷書で書くこと。
(5) 経済システム教育研究領域を志願する者は、入学志願票の教育研究領域欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も、併せて記入すること。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士前期課程)10月募集
写真票

受験番号	※		一般, 社会人, 外国人留学生
フリガナ			性別
氏名	昭和・平成 年 月 日生		男・女
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

※出欠欄

写真を貼る欄

- 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4cm×3cm)とします。
- 写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は、写真票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は、記入しないこと。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士前期課程)10月募集
受験票

受験番号	※		一般, 社会人, 外国人留学生
フリガナ			性別
氏名	昭和・平成 年 月 日生		男・女
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

写真を貼る欄

- 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4cm×3cm)とします。
- 写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は、受験票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は、記入しないこと。

き
り
と
ら
な
い
こ
と

受 験 心 得

- (1) 受験者は、試験開始 20 分前までに、各試験室前に集合すること。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

試験期日及び試験場（博士前期課程）10月募集

期 日	科 目	時 間	場 所	摘 要
平成 29 年 9 月 30 日 (土)	日 本 語 共 通 試 験	9 : 00 } 10 : 40	法文学部・ 観光産業 科学部棟	外国人留学生特別 選抜の受験者のみ
	外国語科目	9 : 00 } 10 : 40	＃	一般選抜の 受験者のみ
	専 門 科 目	11 : 10 } 12 : 50	＃	全 員 ○経済システム教育 研究領域を研究レポ ートで受験する者につ いては、専門科目 の時間に研究レポート についての面接を 行います。
	面 接	14 : 30 } }	＃	全 員 ○ただし、経済ス テム教育研究領域を 研究レポートで受験 する者は除きます。 ○実務法学教育研究 領域を研究レポート で受験する者につ いては、面接時に口頭 試問を行います。

研究計画概要 (博士前期課程) 10月募集

氏名		志願理由も含めて以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを10ポイント以上で作成すること。



琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

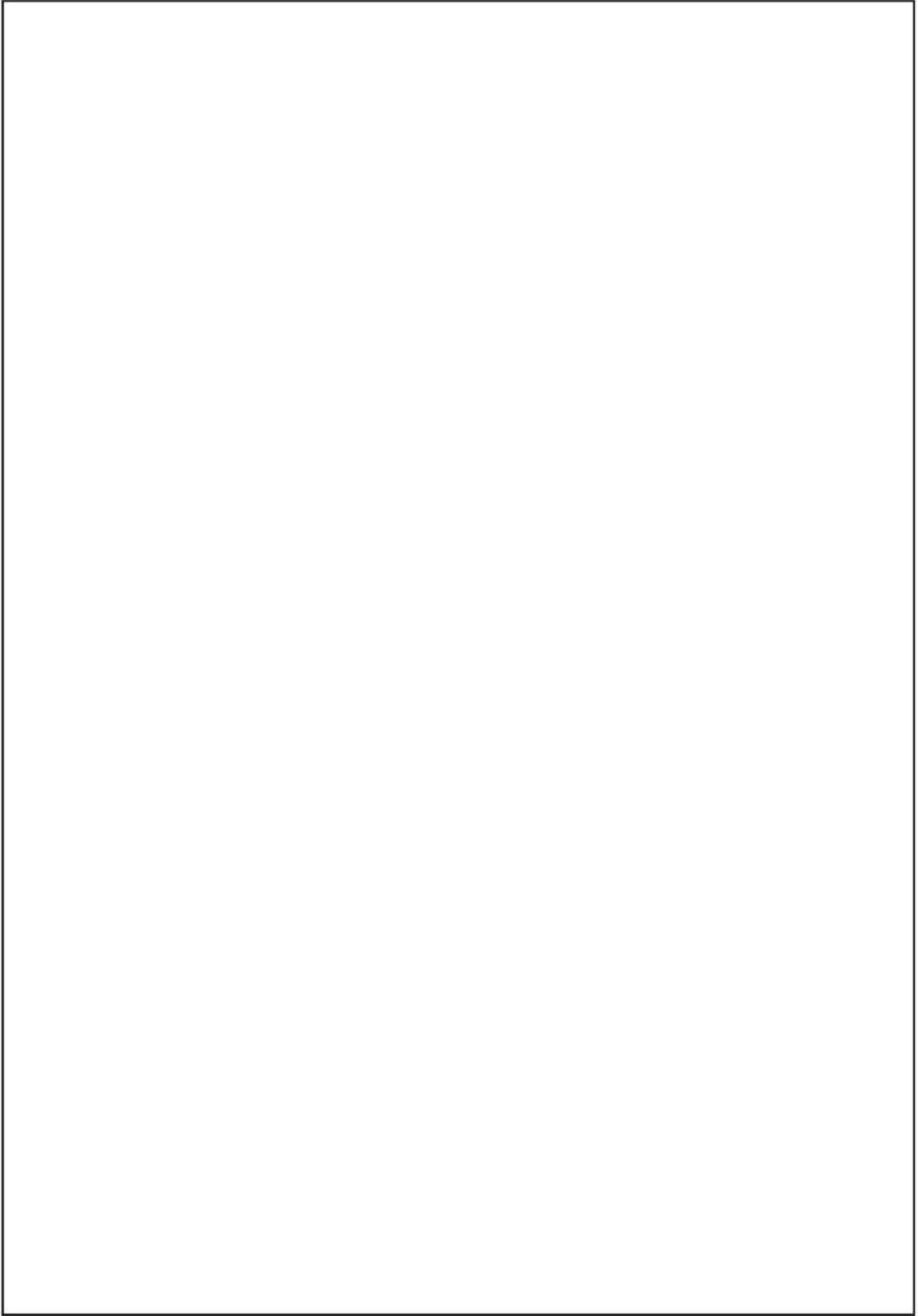
業績報告書 (博士前期課程) 10月募集

氏名	論文名及びその概要を以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを10ポイント以上で作成すること。



琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

受験承諾書（博士前期課程） 10月募集

平成 年 月 日

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

受験者の職名

氏名

上記の者が、貴大学院人文社会科学研究科を受験することを承諾します。

氏 名

印

本人との関係

事業所等名

現 住 所

電 話 ()

日本語力調査書（博士前期課程）10月募集

志願者氏名 _____ 生年月日(西暦) _____ 年 月 日

志願者住所 _____

志願者の母国語 _____

*該当する事項の番号を○印で囲む。

I 聴解力

1. 理解できない。
2. ゆっくりはっきり話せば理解できる。
3. まあまあ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

II 会話力

1. 少しも話せない。
2. 意志の伝達はできる。
3. ある程度話せる。
4. すらすら話せる。

III 読解力

1. 全く理解できない。
2. やや理解できる。
3. おおよそ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

IV 作文

1. 全く書けない。
2. やさしい文章は書ける。
3. まとまった文章が書ける。
4. 論理的な文章が書ける。

V 所見（大学の講義をうける能力等，総合的な評価）

以上のとおり調査報告します。

平成 年 月 日

調査者勤務先 _____

調査者職名 _____

調査者氏名（自署） _____ 印

注 この調査書は、高等学校又は大学において日本語を教授している者，政府又は公共団体の責任ある職員にあつて日本語を十分理解できる者，若しくは各国在日本大使館員職員によるものでなければなりません。

平成 年 月 日

琉球大学大学院 人文社会科学研究科長 殿

相 談 申 請 書 (10 月 募 集)

貴大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学者選抜試験を受験するに際して、下記のとおり相談を申請します。

記

1. 志願者^{フリガナ}氏名： _____ 印
昭和・平成 年 月 日生 男・女
平成 30 年 4 月 1 日現在満 歳
2. 志望専攻：
3. 出身学校名：
平成 年 月 日 卒業・卒業見込
4. 住所〒
電話（ ） —
5. 障がいの程度：
6. 受験上及び修学上希望する措置：
7. 添付資料：診断書，身体障がい者手帳（写）

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究科 [博士前期課程]
入学資格個別審査申請書 (10 月募集)

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

私は、大学院入学資格の個別審査を受けたいので、申請します。

志望専攻・教育研究領域	専攻	教育研究領域
フリガナ氏名		印
フリガナ住所	〒	—
	TEL ()	—
添付書類	①出願理由書 (本学所定の用紙) ②経歴書 (本学所定の用紙) ③最終学校の成績証明書 ④最終学校の卒業 (修了) 証明書又は在籍証明書 ⑤返信用封筒 [長形 3 号, 362 円切手貼付]	

(出願資格個別審査用)

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所 [博士前期課程]
経 歴 書 (10 月募集)

氏 名 印
性 別 男 ・ 女
生 年 月 日 昭和 ・ 平成 年 月 日

最終学校 (卒業・修了) 年月

年 月～ 年 月	卒業・修了
----------	-------

上記卒業 (修了) 後の職歴 (実務経験), 学習歴及び活動歴がある場合は, 年代順にその内容についても詳しく記入してください。

期間 (年 月～ 年 月)	内 容

東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験 志願者の検定料に関する特例措置について（10月募集）

琉球大学では、平成30年度大学院入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 特例措置の対象

平成30年度大学院入試

2. 措置内容

検定料の免除：30,000円

3. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
① 東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

4. 申請の方法

入試区分	申請方法
○大学院入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。 また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて法文学部・観光産業科学部学務担当へ申請してください。 申請後、検定料を返還します。

※ 返還金払戻請求書の提出期限は、平成30年3月30日（金）までとします。

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 法文学部・観光産業科学部学務担当

電話（098）895-8184

検定料免除申請書（10月募集）

平成 年 月 日

国立大学法人
琉球大学長 殿

（請求者）

受付番号（大学側で記入）

入学者選抜試験の種類

■大学院入試

出願研究科 琉球大学大学院 人文社会科学研究科

出願専攻 専攻

フリガナ

志願者氏名 印

住 所 〒

電 話

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び平成28年4月14日に発生した熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、被災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

（記入上の注意）

この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

平成 年 月 日

返還金払戻請求書(10月試験)

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者
〒

住 所

フリガナ
氏 名

印

電話番号 _____

私が平成 年 月 日に納付した検定料

円について、以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込みを受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 東日本大震災及び5. 熊本地震において被災を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書をご同封ください。

記入上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については，志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は，取扱金融機関取納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

※人文社会科学研究所 博士前期課程 10月募集

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年 月 日								
金額	¥30,000-								
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711							
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358							
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859							
※募集区分	411								
(フリガナ)									
氏名									
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所(博士前期課程)10月募集									



(取扱店→振込人→大学)

(振込前に志願者で切離し)

※依頼日	年 月 日								
振込金額	¥30,000-								
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711							
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358							
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859							
受取人 口座名	国立大学法人 琉球大学								
(フリガナ)									
氏名									
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所(博士前期課程)10月募集									

(大学提出時に切離し)

上記のとおり領収しました。



(取扱店→振込人)

検定料振込書

振込依頼書

※依頼日	年 月 日								
振込指定	428711								
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711							
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366							
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358							
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859							
口座受取人 名	コクワツダ・カホクシヨウ リョウケイコウガ カキ								
	国立大学法人 琉球大学								
※募集区分	411								
(フリガナ)									
氏名									
※(住所)									
(電話番号)									
備考	平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所 (博士前期課程) 10月募集 【納入期間】 平成29年8月17日 (木) から 平成29年9月1日 (金) まで								

取扱店へのお願
 本件内を打電してください。
 募集区分、フリガナの順に打電してください。

(振込時金融機関で切離し)



(取扱店用)

志願者整理票 【博士前期課程】10月募集

(注) この整理票は、シール式(太枠部分)になっているので、はがれないように取り扱うこと。

志願者氏名() 楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号 (記入しないこと)	志願者氏名 (下にフリガナをつけること。)	性別	出身学校が所在する都道府県 又は国名	出身学校の名称 (下にフリガナをつけること。)
※				

合格通知書送付先 (合格通知書送付先の郵便番号、住所、氏名を楷書で正確に取り扱うこと。
団地の棟番号、戸番や下宿先の〇〇方なども必ず記入すること。)

(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

※ 印欄は記入しないこと。

入学手続通知送付先

(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

※ 印欄は記入しないこと。

(博士前期課程)

3月募集の出願書類所定用紙

下記の出願書類が添付されていますので、確認してください。

1. 入学志願票
2. 受験票 (受験心得)
3. 写真票
4. 研究計画概要
5. 業績報告書
6. 受験承諾書
7. 日本語力調査書
8. 相談申請書
9. 入学資格個別審査申請書
10. 出願理由書
11. 経歴書
12. 東日本大震災及び熊本地震により被災した志願者の検定料に関する特例措置について
13. 検定料免除申請書
14. 返還金払戻請求書
15. 検定料振込書
16. 志願者整理票
17. 受験票等送付用封筒
18. 出願書類提出用封筒

出願書類は、ミシン目から丁寧に切り離してください。

受験番号		※		一般，社会人 外国人留学生	
平成30年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所（博士前期課程）入学志願票（3月募集）					
フリガナ			国籍名 (外国籍を持つ者)	専攻	
氏名				専攻	
生年月日	昭和・平成	年	月	日	(満才) 男・女 平成30年4月1日現在
現住所	〒 -				(経済システム領域については、志望コース)
	携帯電話： メールアドレス：				
※大学から緊急連絡がある場合の 連絡先を記入する。上記と同じ場合 は、記入しなくてもよい。		〒 - TEL メールアドレス：			
受験科目	専門科目			外国語科目	
本人以外 連絡先	氏名				志願者との続柄 ()
	現住所 TEL				
出願資格	立		大学	学部	学科
			昭和・平成	年	月卒業 (卒業見込)
履 歴					
学 歴 〔卒高 業等 以学 上校〕	年	月	日		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
職 歴	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
上記のとおり相違ありません。					
平成 年 月 日 氏名					

- 備考 (1) 記入の際は、本募集要項熟読の上、記入漏れのないようにすること。
(2) 「一般，社会人，外国人留学生欄」(右上)は、該当する選抜に○をつけること。
(3) ※印欄は、記入しないこと。
(4) 黒のボールペンを使用し、楷書で書くこと。
(5) 経済システム教育研究領域を志願する者は、入学志願票の教育研究領域欄に「志望するコース
(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も、併せて記入すること。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士前期課程)3月募集
写真票

受験番号	※	一般, 社会人 外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名		男・女	
	昭和・平成 年 月 日生		
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

※出欠欄

写真を貼る欄

○写真は、出願前
3ヶ月以内に撮影
した脱帽正面上半
身(4cm×3cm)とし
ます。
○写真の裏に氏名を
記入して貼付する
こと。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、該当する
選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は、写真票
の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・
政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は、記入しないこと。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士前期課程)3月募集
受験票

受験番号	※	一般, 社会人 外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名		男・女	
	昭和・平成 年 月 日生		
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

写真を貼る欄

○写真は、出願前
3ヶ月以内に撮影
した脱帽正面上半
身(4cm×3cm)とし
ます。
○写真の裏に氏名を
記入して貼付する
こと。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、該当する
選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は、受験票
の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・
政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は、記入しないこと。

き
り
と
ら
な
い
こ
と

受 験 心 得

- (1) 受験者は、試験開始 20 分前までに、各試験室前に集合すること。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

試験日時及び試験場（博士前期課程）3 月募集

期 日	科 目	時 間	場 所	摘 要
平成 30 年 3 月 3 日 (土)	日 本 語 共 通 試 験	9 : 00 ∩ 10 : 40	法文学部・ 観光産業 科学部棟	外国人留学生特別選 抜の受験者のみ
	外国語科目	9 : 00 ∩ 10 : 40	＃	一般選抜の 受験者のみ
	専 門 科 目	11 : 10 ∩ 12 : 50	＃	全 員 ○実務法学教育研究 領域を研究レポート で受験する者につい ては、専門科目の時 間に口頭試問と面接 を行います。 ○経済システム教育 研究領域を研究レポ ートで受験する者につ いては、専門科目 の時間に研究レポート についての面接を 行います。
	面 接	14 : 30 ∩	＃	全 員 ○ただし、実務法学 教育研究領域及び経 済システム教育研究 領域を研究レポート で受験する者は除き ます。 ○政策科学教育研究 領域は、面接時に研 究論文の内容につい ての口頭試問を行 います。

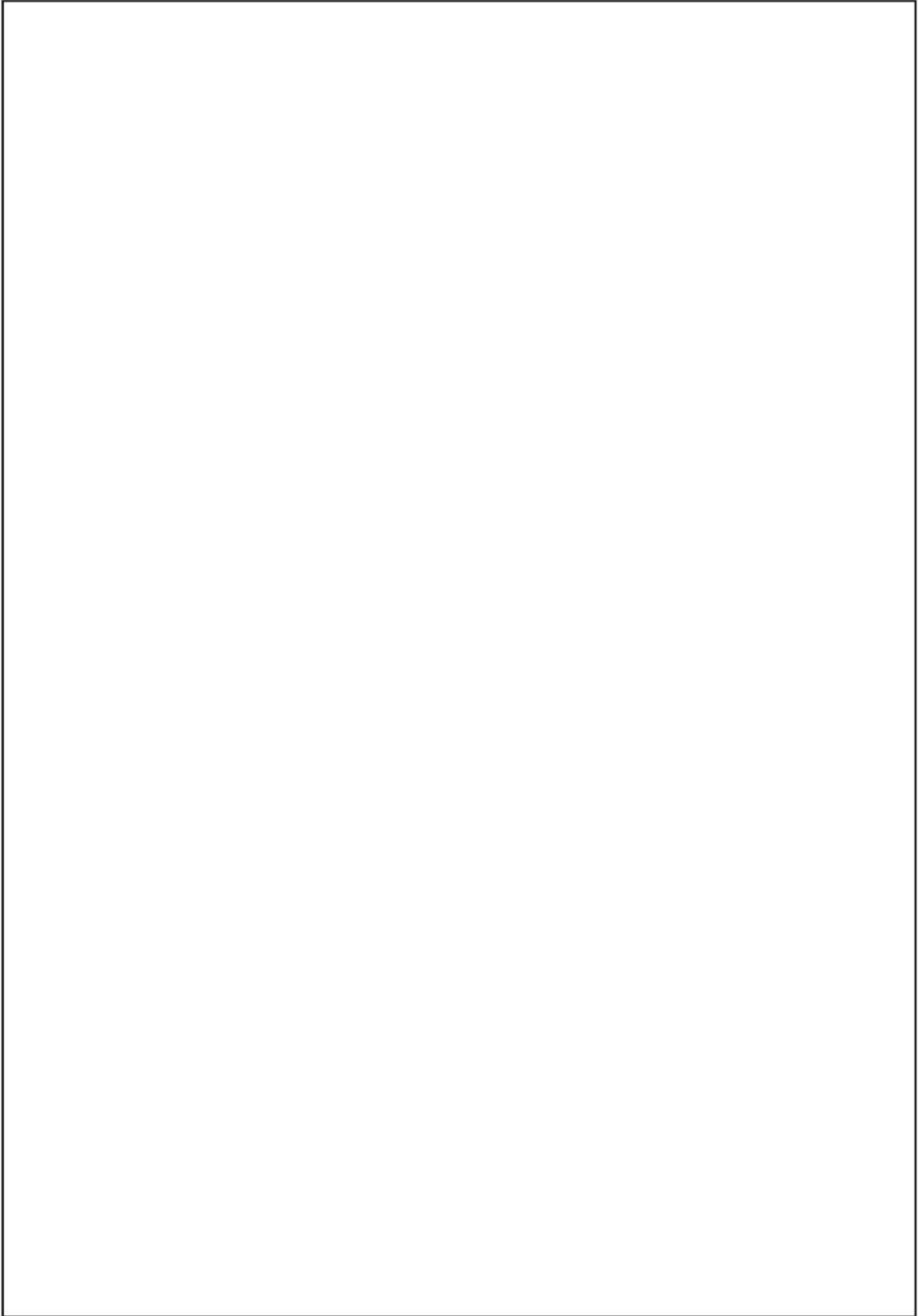
研究計画概要 (博士前期課程) 3月募集

氏名		志願理由も含めて以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを10ポイント以上で作成すること。



琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

業績報告書 (博士前期課程) 3月募集

氏名		論文名及びその概要を以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを10ポイント以上で作成すること。



琉球大学大学院人文社会科学研究所

*この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

受験承諾書（博士前期課程） 3月募集

平成 年 月 日

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

受験者の職名

氏名

上記の者が、貴大学院人文社会科学研究科を受験することを承諾します。

氏 名

印

本人との関係

事業所等名

現 住 所

電 話 ()

日本語力調査書（博士前期課程）3月募集

志願者氏名 _____ 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

志願者住所 _____

志願者の母国語 _____

*該当する事項の番号を○印で囲む。

I 聴 解 力

1. 理解できない。
2. ゆっくりはっきり話せば理解できる。
3. まあまあ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

II 会 話 力

1. 少しも話せない。
2. 意志の伝達はできる。
3. ある程度話せる。
4. すらすら話せる。

III 読 解 力

1. 全く理解できない。
2. やや理解できる。
3. おおよそ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

IV 作 文

1. 全く書けない。
2. やさしい文章は書ける。
3. まとまった文章が書ける。
4. 論理的な文章が書ける。

V 所見（大学の講義をうける能力等，総合的な評価）

以上のとおり調査報告します。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

調査者勤務先 _____

調査者職名 _____

調査者氏名（自署） _____ 印

注 この調査書は、高等学校又は大学において日本語を教授している者，政府又は公共団体の責任ある職員にあつて日本語を十分理解できる者，若しくは各国在日本大使館員職員によるものでなければなりません。

平成 年 月 日

琉球大学大学院 人文社会科学研究科長 殿

相 談 申 請 書 (3 月 募 集)

貴大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学者選抜試験を受験するに際して、下記のとおり相談を申請します。

記

1. 志願者^{フリガナ}氏名： _____ 印
昭和・平成 年 月 日生 男・女
平成 30 年 4 月 1 日現在満 歳
2. 志望専攻：
3. 出身学校名：
平成 年 月 日 卒業・卒業見込
4. 住所〒
電話（ ） —
5. 障がいの程度：
6. 受験上及び修学上希望する措置：
7. 添付資料：診断書，身体障がい者手帳（写）

(出願資格個別審査用)

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究科 [博士前期課程]
入学資格個別審査申請書 (3月募集)

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

私は、大学院入学資格の個別審査を受けたいので、申請します。

志望専攻・教育研究領域	専攻	教育研究領域
フリガナ氏名		印
フリガナ住所	〒	—
	TEL ()	—
添付書類	①出願理由書 (本学所定の用紙) ②経歴書 (本学所定の用紙) ③最終学校の成績証明書 ④最終学校の卒業 (修了) 証明書又は在籍証明書 ⑤返信用封筒 [長形 3 号, 362 円切手貼付]	

(出願資格個別審査用)

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所 [博士前期課程]
経 歴 書 (3月募集)

氏 名 印
性 別 男 ・ 女
生 年 月 日 昭和 ・ 平成 年 月 日

最終学校 (卒業・修了) 年月

年 月～ 年 月	卒業・修了
----------	-------

上記卒業 (修了) 後の職歴 (実務経験), 学習歴及び活動歴がある場合は, 年代順にその内容についても詳しく記入してください。

期間 (年 月～ 年 月)	内 容

東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験 志願者の検定料に関する特例措置について（3月募集）

琉球大学では、平成30年度大学院入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 特例措置の対象

平成30年度大学院入試

2. 措置内容

検定料の免除：30,000円

3. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
① 東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

4. 申請の方法

入試区分	申請方法
○大学院入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。 また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて法文学部・観光産業科学部学務担当へ申請してください。 申請後、検定料を返還します。

※ 返還金払戻請求書の提出期限は、平成30年3月30日（金）までとします。

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 法文学部・観光産業科学部学務担当

電話（098）895-8184

検定料免除申請書（3月募集）

平成 年 月 日

国立大学法人
琉球大学長 殿

（請求者）

受付番号（大学側で記入）

入学者選抜試験の種類

■大学院入試

出願研究科 琉球大学大学院 人文社会科学研究科

出願専攻 専攻

フリガナ

志願者氏名 印

住 所

電 話

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び平成28年4月14日に発生した熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、被災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

（記入上の注意）

この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

返還金払戻請求書(3月試験)

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号

私が平成 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込みを受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 東日本大震災及び5. 熊本地震において被災を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書をご同封ください。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

記入上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関取納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

※人文社会科学研究所 博士前期課程 3月募集

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出下さい。

※依頼日	年	月	日	手数料
金額	¥30,000-			
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		
	沖繩銀行我如古支店（普通）	1540366		
	沖繩海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859		
※募集区分	411			
※依頼者人氏名	国立大学法人 琉球大学			
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所(博士前期課程) 3月募集				



(取扱店→振込人→大学)

(振込前に志願者で切離し)

※依頼日	年	月	日	手数料
振込金額	¥30,000-			
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		
	沖繩銀行我如古支店（普通）	1540366		
	沖繩海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859		
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学			
※依頼者人氏名	(フリガナ)			
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所(博士前期課程) 3月募集				

(大学提出時に切離し)

上記のとおり領収しました。



(取扱店→振込人)

検定料振込書

振込依頼書

※依頼日	年	月	日	振込指定	電信指	手数料	勘定科目
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		金額	¥30,000-		
	沖繩銀行我如古支店（普通）	1540366		現金			
	沖繩海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		内訳			
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859					
口座取座取人氏名	コナツガクカクシケン リョクコウダク 国立大学法人 琉球大学						
※募集区分	411	※フリガナ					
※依頼者人氏名	※(住所)						
(電話番号)							
備考	平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所(博士前期課程) 3月募集 【納入期間】 平成30年1月24日(水) から 平成30年2月7日(水) まで						

(電話番号)



(取扱店用)

取扱店へのお申し込み
○募集区分 フリガナの順に打電して下さい。
○口座名 フリガナの順に打電して下さい。
(振込時金融機関で切離し)

志願者整理票 【博士前期課程】3月募集

(注) この整理票は、シール式(太枠部分)になっているので、はがれないように取り扱うこと。

志願者氏名() 楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号 (記入しないこと)	志願者氏名 (下にフリガナをつけること。)	性別	出身学校が所在する都道府県 又は国名	出身学校の名称 (下にフリガナをつけること。)
※				

合格通知書送付先 (合格通知書送付先の郵便番号、住所、氏名を楷書で正確に取り扱うこと。
団地の棟番号、戸番や下宿先の〇〇方なども必ず記入すること。)

(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

※ 印欄は記入しないこと。

入学手続通知送付先

(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

※ 印欄は記入しないこと。

(博士後期課程)

比較地域文化專攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【博士後期課程】

比較地域文化専攻

比較地域文化専攻は、従来型の研究者の養成のみを目指すのではなく、高度専門職業人養成を基本とする専攻です。学問的倫理と実践的課題の調和を図り、高度の理論と実践的能力を兼ね備えた人材を養成することが目的です。この目的のために、留学生、社会人を含め、本専攻の学生には高度の専門的知識に加え、下に示したような、高度の調査能力、分析研究能力、応用能力等、総合的な能力が求められます。

- 1) 地域の現実的・実践的課題を学問的理論の応用によって解析し、解決の方法を導き出していく能力。
- 2) 特定の分野の専門家としてだけでなく、琉球・沖縄と世界各地とをつなぐ具体的な課題について多角的な視点から解明していく能力。

専攻案内

1. 目的

本専攻は、本学及び本研究科に蓄積されている豊富な実績を最大限に生かした教育研究を行い、広い視野と国際感覚、地域社会や国際社会で活躍できる高度な専門的能力と総合的判断力を備えた研究者及び専門職業人の養成を目指します。

2. 組織と特徴

(1) 組織

本専攻組織は、人文社会科学系研究科博士前期課程の3専攻（総合社会システム専攻、人間科学専攻、国際言語文化専攻）の中から、「琉球・沖縄」、「アジア」、「太平洋地域」、「比較」に関する分野を抽出した博士後期課程です。

(2) 特徴

本専攻では、「琉球・沖縄」、「アジア」、「太平洋地域」、「比較」をキーワードに、沖縄と周辺諸地域との関連性の解明と比較研究を行います。具体的には、琉球近世史学、琉球考古学、琉球中国関係史、言語政策、アジア社会学、国際関係論、琉球方言音韻研究、ことばと相互行為、アメリカマイノリティ文学、沖縄民俗文化論、アジア文化人類学、国際開発協力、沖縄近現代文学、環境思想（以上、博士論文指導教員担当分野）を中心に、さらに島嶼空間システム、島嶼環境経済、アジア物質交流史論、アジア国際関係史等の分野に関わる科目を提供します。

本専攻は、アジア太平洋地域の知の交流拠点として、地域性と普遍性を踏まえた新しい研究のパラダイムを構築し、その成果を沖縄から世界へ発信するものです。

3. 修業年限

3 年

4. 履修方法

(1) 3年間で博士の学位が取得できるよう、「比較地域文化総合演習（8単位）」と「比較地域文化特別研究（8単位）」の二つの必修科目を中心に、選択科目（8単位以上）と併せて計24単位を段階的、計画的に履修する。「総合演習」は総合的学際的な視野にたつて教育研究し、高度の専門職業に携わる能力を涵養できるよう主指導教員と副指導教員を中心とする複数の教員があたる集団指導体制の科目です。「特別研究」は、主指導教員と副指導教員を中心に実施する科目で、研究内容が該当する国内外の学会などでその評価に耐え得るよう、又は、該当する分野・業種で極めて有効な内容になるよう学期毎、年度毎に段階的に指導できるよう編成されています。いずれも複数指導教員制、集団指導体制による科目を中心にした科目編成です。

(2) 社会人特別入試制度により入学した者（社会人）の履修上の便宜を図るための履修方法は以下によります。

① 通常の間時間帯のほか、特例による授業時間帯をもうけ、3年間の全期間にわたって、特例による授業時間帯において課程修了に必要な単位を履修できます。

② 特例による授業時間帯は、原則として夜間の第6、7時限（18時～21時10分）に設定します。場合によっては、土曜日及び特定の時期に設定することもあります。

- (3) 社会人学生以外の一般学生及び外国人留学生で、指導教員が必要と認めたものについても、上記特例に基づいて開講される授業科目を履修し、課程修了に必要な単位に含めることができます。

5. 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長6年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の3年間（6学期）の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、事前に希望指導教員に長期履修の必要性を説明し、履修計画を相談した後、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

6. 個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学選抜に関する調査・研究などに利用します。

* 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

平成 30 年度琉球大学大学院人文社会科学研究所 比較地域文化専攻（博士後期課程）学生募集要項

平成 30 年度琉球大学大学院人文社会科学研究所比較地域文化専攻（博士後期課程）学生を、次のとおり募集します。

1. 募集人員

比較地域文化専攻 4名（社会人及び外国人留学生を含む）

2. 出願資格

《A. 一般選抜》

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者若しくは平成 30 年 3 月までに学位を授与される見込みの者（1 年次修了者も含む）
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者若しくは平成 30 年 3 月までに学位を授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職単位に相当する学位を授与された者、若しくは平成 30 年 3 月までに学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、若しくは平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項にも規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者。
- (6) 外国の学校、上記出願資格（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

○大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

○外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの又は平成 30 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの。

《B. 社会人特別選抜》

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、本課程入学までに大学卒業後又は学士の学位取得後 4 年以上、又は大学院修了後若しくは修士の学位取得後 2 年以上の社会的経験を有する者とし、有職者に限りません。

《C. 外国人留学生特別選抜》

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、日本国籍を有しない者。

3. 出願資格の認定について

出願資格(6)～(8)に該当する者は、出願資格の事前審査を行うので、出願に先立って平成30年1月4日(木)までに次の書類を法文学部・観光産業科学部事務室へ提出してください。{郵送の場合は、1月4日(木)必着、持参する場合は、土・日曜日及び祝日以外の午前9時から午後5時(正午から午後1時までの昼食時間を除く)の間となります。}

- (1) 入学資格個別審査申請書(本学所定の用紙)
- (2) 出願理由書(本学所定の用紙)
- (3) 経歴書(本学所定の用紙)
- (4) 最終学校の成績証明書
- (5) 最終学校の卒業(修了)証明書又は在籍証明書
- (6) 研究業績報告書様式1(本学所定の用紙に、著書、学術論文、研究報告書、卒業論文等の業績の概要をまとめたもの。原著、論文抜刷又はそのコピーを添付すること。)
- (7) 研究経過報告書様式2(本学所定の用紙に、学校等卒業<修了>後の調査研究状況を詳細に記入したもの。)
- (8) 返信用封筒
返信先を明記し、362円分の切手を貼った返信用封筒(長形3号)

4. 出願手続

- (1) 出願期間 : 平成30年1月15日(月)～1月19日(金)までに必着
直接持参する場合は、土・日曜日及び祝日以外の午前9時から午後5時(正午から午後1時の昼食時間を除く)の間に受け付けます。
- (2) 出願方法 : 出願書類を「書留速達」で所定の期間内に郵送してください。
「人文社会科学研究科博士後期課程出願書類在中」と朱書すること。

- (3) 出願書類請求及び提出先

琉球大学法文学部・観光産業科学部学務担当 ☎ 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 電話：098-895-8184 FAX：098-895-8187
--

◎出願書類を郵便で請求するときは「大学院出願書類」と朱書した返信用封筒(角2号)を同封し、380円分の切手(普通)か760円分の切手(速達)を貼付してください。

(4) 注意事項

- (1) 出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (2) 本研究科の選抜方法に関して照会する場合は、上記4.(3)に問い合わせてください。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

5. 受験・修学上の特別措置

本研究科に入学を志願する者で、身体障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める程度の障がい)又は発達障がい(発達障害者支援法第2条第1項に定める程度の障がい)を有する者、その他疾病・負傷等により受験上又は修学上の特別措置を必要とする者は、あらかじめ法文学部・観光産業科学部学務担当に申し出てください。

なお、特別措置の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申し出てください。また、上記申し出に基づき書面による相談が必要となった場合は、以下によってください。

- ① 相談の時期：平成29年12月11日(月)まで
- ② 相談の方法：別添様式による相談申請書(健康診断書等添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行いません。

6. 出願書類

出願書類等	適 要	一般 選 抜	社会人 特別選抜	外国人 留学生 特別選抜
①入学志願票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入	○	○	○
②受験票・写真票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入し、写真は、出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽のもの（縦4cm×横3cm）を貼付	○	○	○
③修了・卒業（見込） 証明書又は資格認定証	出身大学の学長（学部長・研究科長）が作成したもの	○	○	○
④成績証明書	出身大学等の学部長（学長等）が作成し、 厳封したもの	○	○	○
⑤研究計画書	本課程で行う研究の目的、これまでの研究経過、今後の研究計画と研究方法、研究の意義等について、A4用紙（横書き、40字×30行前後）を使って5,000字程度の日本語でまとめたもの	○	○	○
⑥修士論文又は 研究論文の写し	修士論文は審査段階でも可	○	該当者	該当者
⑦受験承諾書	官公庁・会社等に在職のまま、本学大学院に入学しようとする者のみ、本学所定の用紙により提出	該当者	該当者	該当者
⑧日本語力調査書	「本学所定の用紙」を用いること	/	/	○
⑨「住民票」の写し及び 旅券（パスポート写）	現に日本国に在住している外国人は市区町村長発行の記載事項の内容が省略されていないもので、出願前1か月以内に交付されたもの	該当者	/	○
⑩検定料納付証明書 （大学用）	入学検定料の振り込みについては「7. 検定料振込等について」を参照	○	○	○
⑪志願者整理票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入すること	○	○	○
⑫受験票等送付用封筒	「本学所定の封筒」に362円分の切手を貼付宛名に「郵便番号、住所、氏名」を明記	○	○	○
※ 注意事項	<p>ア. 外国において学校教育における16年の過程を修了した者は、最終学校の成績証明書及び卒業（修了）証明書を添付してください。</p> <p>イ. 外国語の証明書には日本語の訳文をつけてください。</p> <p>ウ. 入学検定料は、日本政府（文部科学省）奨学金による外国人留学生については、納付する必要はありません。この場合、国費の留学生であることの証明書を添付してください。</p> <p>エ. 事前に出願資格認定を申請した者は、成績証明書を提出する必要はありません。</p>			

7. 検定料振込等について

(1) 検定料 30,000 円 (別添「検定料振込書」を使用してください)

(2) 振込期間：**平成 30 年 1 月 4 日 (木) ~ 1 月 19 日 (金)**

※ **国費外国人留学生及び平成 30 年 3 月 31 日に本学研究科博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本課程に進学するものは検定料及び入学金を徴収しない。**

(3) 振込方法

ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日, 入学志願者氏名 (フリガナ), 住所, 電話番号, 振込先 (枠内に○印)》

イ. 必ず金融機関 (銀行等) の窓口で振り込み, ATM (現金自動預払機) は使用しないでください。

ウ. 振込手数料については, 志願者本人負担となります。

エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書 (大学用)」を受け取る際は, 取扱金融機関収納印を確認してください。

オ. 「検定料納付証明書 (大学用)」は**出願書類に同封して提出**してください。

※この募集要項添付の「**検定料振込書**」が使用できない場合は, 各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込依頼人氏名は, 先に募集区分 (人文社会科学研究科博士後期課程は 711), 次に志願者本人氏名としてください。

例 711 ダイガク タロウ

振込先口座, 金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書 (大学用)」の代わりに提出してください。

【外国からの銀行振込の場合】

検定料の振込先をお知らせします。外国から振り込む際は円建てで振り込ませてください。

※なお, 外国送付にかかる一切の手数料 (振込手数料, 経由銀行手数料等) は振込人本人の負担とします。

受取人 大学名 University of the Ryukyus

住 所 1 Senbaru, Nishihara Okinawa, Japan

銀行名 Bank of the Ryukyus

Branch Office: (支店名) : Ginowan

Account No: (口座番号) : 428711

SWIFT コード : RYUBJPJZ

住 所 : 1-5-3 Ginowan, Ginowan Okinawa, Japan 電話番号 : (098) 893-2231

(3) 留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合, 「検定料納付証明書 (大学用)」が出願書類に同封されていない場合, 「検定料納付証明書 (大学用)」に取扱金融機関収納印がない場合は, 出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き, いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を振り込んだものの, 出願しなかった場合 (出願書類を提出しないまま出願期間が終了した場合, 書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)。

② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

③ 特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①, ②に該当する場合は, 本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し, 払い戻しの理由を選択, 氏名欄へ押印のうえ, 「検定料納付証明書 (大学用)」を同封して下記へ送付してください (封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください)。

※返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は, 振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2~3 ヶ月程度かかります。

送付期限 : 平成 30 年 3 月 30 日 (金)

送 付 先 : 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL 098-895-8058

※上記③に該当する場合は返還手続 (東日本大震災及び熊本地震により被災した入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について参照) を行ってください。

8. 選抜方法

(1) 一般選抜

書 面 審 査	筆 記 試 験 《注》	口 述 試 験
修士論文等について行います。	外国語（英・独・仏・西・中・韓国語）から1科目	修士論文及び研究計画書等の内容について行います。

《注》 語学辞書の持ち込み可（ただし、電子辞書は除く。）

(2) 社会人特別選抜

書 面 審 査	筆 記 試 験	口 述 試 験
修士論文等について行います。	小 論 文	修士論文及び研究計画書等の内容について行います。

(3) 外国人留学生特別選抜

書 面 審 査	筆 記 試 験 《注1・2》	口 述 試 験 《注2》
修士論文等及び 日本語力調査書	小 論 文	修士論文及び研究計画書等の内容について行います。

《注1》 語学辞書の持ち込み可（ただし、電子辞書は除く。）

《注2》 筆記試験・口述試験とも日本語で行います。

9. 試験期日及び試験場

期 日	試験場	科 目	時 間	摘 要
平成30年 2月10日 (土)	文系総合研究棟 {試験室は 別途指定}	外国語科目	10:00~12:00	一般選抜の受験者
		小 論 文	10:00~12:00	社会人及び 外国人受験者
		口 述 試 験	13:30~	全 員

《注1》 筆記試験の解答にはシャープペンシル・鉛筆のみ使用可能とし、ボールペンは使用不可とします。

10. 合格発表

平成30年2月23日（金）午後4時に本学文系総合研究棟前に掲示するとともに合格者へ通知します。

1 1. 入学手続

入学手続は、平成30年3月26日(月)～27日(火)に行います。
(外国人留学生は、平成29年3月22日(木)～3月27日(火))
入学手続については、合格者あて別途通知します。

1 2. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は、合格者あて別途通知します。

入 学 料	282,000 円 (予定額)
授業料 (前期分)	267,900 円 (予定額)
(年 額)	535,800 円 (予定額)

- (注) ① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は改定時から新たな金額が適用されます。
- ② 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。
- ③ 入学料の免除又は、徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者(対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。)は、所定の免除申請手続を行うことにより、免除の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されません。

2018年度琉球大学大学院人文社会科学研究科 比較地域文化専攻(博士後期課程)

国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム 「国際的沖縄研究者養成プログラム」

1. プログラムの概要

「国際的沖縄研究要請プログラム」は、海外において沖縄研究を牽引し、研究の裾野を広げ、沖縄研究の国際的なネットワークを構築する人材を育成する博士後期課程プログラムです。900キロに及ぶ広い海域に点在する琉球列島の多様な文化と社会の研究、日本、中国、台湾、韓国の東アジア地域との交流の歴史研究、東アジアにおける国際関係論等々、比較地域文化専攻教員の教育・研究実績を活用した教育を行います。

本プログラムでは、琉球・沖縄研究、日本研究で修士号を取得した留学生を対象に博士課程後期での教育を実施し、博士号を取得後、母国の大学等の研究機関において人文科学・社会科学の分野で主導的役割を担い、沖縄研究、日本研究を遂行する人材を養成します。

「教育研究分野の対象」は、人文科学・社会科学、特に、琉球列島の民俗、文学、歴史、言語、社会、国際関係などとし、琉球列島の文化、歴史、社会を対象にした分野で、比較地域文化専攻教員の教育・研究の実績を活用できる教育研究分野を対象とします。

【本プログラムの主たる対象国・地域】

ロシア、ポーランド・オーストリアなどの中欧・東欧諸国、及び、ブラジル、アルゼンチン、ペルーなどの南米諸国

2. 募集対象：

日本国籍を有しない者で、外国人留学生として新たに海外から留学する優秀な者

3. 募集人員：比較地域文化専攻 3名(外国人留学生)

4. 授業料等：本プログラムによって入学が認められた留学生は、入学料及び修了までの3年間の授業料が免除されます。

※ 詳細は『琉球大学人文社会科学研究科ホームページ』をご参照ください。

13. 授業科目及び授業科目の内容

授業担当教員のうち、アンダーラインの教員は、研究指導教員です。

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
比較地域文化総合演習Ⅰ・Ⅱ	各2	幅広い視野に立つ研究を志向するよう促す目的で教員全員が担当して行う演習形式の授業である。1年次の院生すべてが前期に受講する必修科目であり、院生は博士論文作成研究として予定している課題もしくは認識について複数回に分けて報告し、質疑応答を受けると同時に自由討論に参加し、視野を広げる。なお、この授業は他の教員や院生も参加できる開かれたものにする。	全教員
比較地域文化総合演習Ⅲ・Ⅳ	各2	幅広い視野に立つ研究を志向するよう促す目的で教員全員が担当して行う演習形式の授業である。2年次の院生すべてが前期に受講する必修科目であり、院生は博士論文作成研究として進めている課題もしくは認識について複数回に分けて報告し、質疑応答を受けると同時に自由討論に参加し、視野を広げる。なお、この授業は他の教員や院生も参加できる開かれたものにする。	全教員
比較地域文化特別研究Ⅰ	2	比較地域文化総合演習Ⅰ(前期)を履修した1年次の院生を対象とし主指導教員が中心となって、必要に応じ同学の博士課程後期院生を交えて行う演習形式の授業である。博士論文の構想や先行研究の把握、関連資料の状況、必要なフィールドワーク等について研究計画書をもとに指導助言する。そのために受講者は研究計画書を授業の冒頭で提出する義務があり、また教員の求めに応じて論文構想に関する認識について報告しなければならない。なお、指導教員が必要と認める時は他の教員や博士課程前期院生が出席する。	赤嶺政信 赤嶺 守 池田栄史 石原昌英 稲村 務 我部政明 狩俣繁久 喜納育江 新城郁夫 鈴木規之 豊見山和行 星野英一 宮平勝行 山城 新
比較地域文化特別研究Ⅱ	2	2年次前期の博士論文作成に向けた演習形式の授業である。主指導教員が中心となって、必要に応じて同学の博士課程後期院生を交えて行う。主指導教員が必要と認める時は他の教員や博士課程前期院生が出席する。研究計画をほぼ決定し、研究に必要な諸資料の検討やフィールドワーク等の展望について指導助言する。受講者は教員の求めに応じて構想や認識について報告しなければならない。	赤嶺政信 赤嶺 守 池田栄史 石原昌英 稲村 務 我部政明 狩俣繁久 喜納育江 新城郁夫 鈴木規之 豊見山和行 星野英一 宮平勝行 山城 新

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
比較地域文化特別研究Ⅲ	2	2年次後期の博士論文作成に向けた演習形式の授業である。主指導教員が中心となって、必要に応じ同学の博士課程後期院生を交えて、行う。主指導教員が必要と認める時は、他の教員や博士課程前期院生が出席する。諸資料の検討やフィールドワーク等の達成された成果について受講者に適宜報告を求め、指導助言する。それをもとに受講者は博士論文の具体的な構想をほぼ確定する。	赤嶺政信 赤嶺 守 池田栄史 石原昌英 稲村 務 我部政明 狩俣繁久 喜納育江 新城郁夫 鈴木規之 豊見山和行 星野英一 宮平勝行 山城 新
比較地域文化特別研究Ⅳ	2	3年次前期の博士論文作成に向けた演習形式の授業である。主指導教員が中心となって、必要に応じ同学の博士課程後期院生を交えて、行う。主指導教員が必要と認める時は、他の教員や博士課程前期院生が出席する。博士論文の構成やその根拠となる諸資料・理論について指導助言する。それをもとに受講者は博士論文作成に向けて最終段階の作業を行い、後期の論文執筆・推敲につなげる。	赤嶺政信 赤嶺 守 池田栄史 石原昌英 稲村 務 我部政明 狩俣繁久 喜納育江 新城郁夫 鈴木規之 豊見山和行 星野英一 宮平勝行 山城 新
琉球近世史学特論	2	「近世琉球における百姓の負担体系」を主題とする。近世琉球（1609-1879年）における百姓の負担体系を土地制度と租税制度の両面からアプローチする。まず両者に関する戦前以来の研究史上での諸論点を再検討する。ついで具体的に現在の「地割制」や「仕明地」（開墾地）、「頭懸け」と「夫遣い」（人头税）等の諸問題を取りあげる。さらに、これらの負担体系を論ずる上で、土地と租税論に関連する近年の歴史人類学などのアプローチ法をも取り入れ、村レベルから都市民にいたる負担体系を全体的に論及する。	豊見山和行
琉球近世史学演習	2	「近世琉球社会史論」を主題とする。近世琉球（1609-1879年）における首里王府の実施した政策や紛争・裁判等を手がかりに、近世琉球社会の特質を浮き彫りにする。研究史上での論点を整理し、本主題に関係する史料の検討・発表によるゼミ形式とする。主な史料は、首里王府の裁判関係史料（僉議等）および上江洲家文書（久米島）、豊川家文書（石垣島）などの地方文書である。これらの史料を通して、当該期の琉球社会における法的観念や社会的規範の変遷、および王府法と民衆法の齟齬や軋轢などの諸問題を検討・分析する。	豊見山和行

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
琉球考古学特論	2	琉球列島の考古学研究について、研究史を踏まえながらいくつかの課題を選び、従来の研究における資料論および方法論の妥当性を検証することによって、今後の研究の方向性および可能性を探りたい。その方法として、これまでに蓄積された研究書および報告書を材料として取り上げ、これらの作成過程で進められた作業についての具体的復元と確認を行なった上で、これについての問題点を検討する。これらの講義を通じて、受講生それぞれが取り組む研究課題について、複眼的な探究視点を構築するための発想や手掛かりを得られることを意図する。	池田栄史
琉球考古学演習	2	琉球列島の亜熱帯島嶼性と地理的環境に起因する考古学的研究視点の構築を試みる。その方法として、交流・交易論や土器論、集落論などに基づく題材を選ぶ。これによって、琉球列島に固有の考古学的課題とともに、周辺地域との間で行ない得る考古学的比較検討課題の抽出を行なう。授業は発表形式を採用し、受講生の研究課題に沿った発表を前提として、これに対する受講生相互の質議応答を踏まえながら、それぞれの研究認識や研究方法の深化が図れるよう工夫する。	池田栄史
琉球中国関係史特論	2	これまで刊行された中琉関係史に関する評価の高い実証的な研究書や学術論文を講読し、歴史的事象の論理的な理解を深める授業を目指す。進貢、冊封、漂流・漂着、王国の中国化、琉球帰属問題といった課題を通して網羅的に琉球王国の地域の多様性を理解し、地域間ネットワークといった広域的な問題を意識しながら琉球の東アジアにおかれた地域特性を考察する。受講者は指定された研究書や論文を事前に熟読しておかなければならない。	赤嶺 守
琉球中国関係史演習	2	漢文の同時代史料を正確に読み下し、論文執筆をする際に必要となる文書学的な知識を深める授業を目指す。中琉関係史研究を遂行する上で、基本的な重要史料とされる『歴代宝案』、中国第一歴史档案馆（北京）や故宮博物院（台北）及び中央研究院（台北）所蔵の檔案史料（内閣題本、宮中硃批奏摺、軍機処録副奏摺、表文、奏文、漢文起居注、移會、片）、執照、符文、咨文、詳文、稟文を輪読し、文書の収発過程や文書用語に関する専門的知識を提供する。	赤嶺 守
言語政策特論	2	国内に多言語社会が存在する国においては、中心（多数派）言語と周縁（少数）言語の葛藤、公用語（共通語）の選定・普及、第二言語（外国語）教育等の言語をめぐる様々な問題があり、そのよりよい解決のためには言語政策的な検討及び決定が必要とされる。言語政策として公用語（共通語）の選定・普及も重要な課題であるが、それと同等かそれ以上に重要な課題が少数言語話者の言語権（言語維持、言語教育、民族アイデンティティの確立・維持等）の問題である。この講義では、和文・英文の文献を読みながら言語政策と言語権について学ぶ。	石原昌英

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
言語政策演習	2	和文・英文の文献を通して、米国（主にカリフォルニア州とハワイ）、及び日本（主に沖縄）等における言語政策と言語権（言語維持、言語教育、民族アイデンティティの確立・維持等）の具体例を検討し、それらを参考にしながら特定のテーマを選定し、研究を深める。また、資料の調査収集と分析方法を学ぶために、インタビュー調査及びアンケート調査を実施し、その内容を分析する。	石原昌英
アジア社会学特論	2	グローバル化の中でのアジア社会の変動を、国際社会的な視点と地域研究的な手法で理論的・実証的に研究する。社会科学としての地域研究にその理論的背景を与えるものとして注目されているのが国際社会学である。ここでは、地域研究と国際社会学について沖縄を含むアジアを事例に必要な理論と実証への応用の方法をまず指導する。そして地域研究と国際社会学を接合させた、比較よりも関係性を重視する世界システム論やエスニシティ論の実証への応用についてさらに深く考察していく。	鈴木規之
アジア社会学演習	2	グローバル化が進行する中で、アジアを分析する理論や方法は大きな転換を迫られている。ここでは、国際社会学の視点から持続可能な発展や内発的発展を含むオルタナティブな開発・発展の理論と実践、開発と市民社会、開発と環境、社会変動とエスニシティ、文化のヘゲモニー（アジアにおけるジャパナイゼーション）などをテーマに、アジア（沖縄も含む）におけるフィールドワークも行いながら具体的なテーマをもって演習形式で検討していく。フィールドワークに際しては、調査デザインや技法についても指導する。	鈴木規之
国際関係論特論	2	国際関係論の抱える幅広い領域を理解する方法について、理論的および実証的な基礎的知識を深めることを目的とする。博士前記（修士）課程で学んできた社会科学の分野で多用される分析概念、分析方法、用語など、英語文献を通じてその理解度を深め、その表現方法の習得を可能にする。ここでは、4つの分野—環境、発展、世界経済、紛争と安全保障—を軸にして、それぞれの抱える諸問題を取り上げ、これまでの研究、概念、事例、新たな課題などについて理解していく。	我部政明
国際関係論演習	2	パワーと国家の視点から国際政治のダイナミズムの構造と機能について、理論的、実証的、そしてポスト実証主義的な研究方法を深める。安全保障の多面性—武器の拡散、人権、平和維持活動と平和創出などがテーマとなる。とりわけ、国際システム、主体アクター、構造的パワー、解釈などの研究方法と理解し、東アジア国際環境で生起するさまざまな事例を通じて秩序形成、維持、崩壊の過程を分析する。そして、安全保障と国内政治との接点を通じて、パワーと国家の行動の関係を探ることとする。	我部政明

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
琉球方言音韻研究特論	2	<p>琉球方言には多様な音韻変化があることが知られている。本講では琉球列島全域約百地点の臨地調査で収集した資料に基づき琉球方言の音韻変化について講義する。閉音節構造を有し7母音体系の奄美諸鈍方言，成節的子音と音節主音的子音を持つ宮古島方言，有声／無声の対立のない大神方言などの特異な音韻体系を有する方言を中心に，狭母音化や母音同化，破裂音の摩擦音化，接近音の破裂音化などの音韻変化を調音音声学的に分析する方法を解説し，変化の要因，変化の条件，他の音韻変化との整合性など，総合的な観点で解明することを講義形式によって学ばせる。</p>	狩俣繁久
琉球方言音韻研究演習	2	<p>琉球方言内の下位方言の比較研究、本土方言との比較研究の方法を習得したうえで、個々の方言を分析するにも隣接する方言への配慮が必要であること、複数地点の音韻変化を比較するにも個々の方言内部の音韻体系への配慮が必要であることを具体例で確認させ、方言研究を深めさせる。消滅に瀕している琉球にとってフィールドワークによって収集した資料が重要な役割を果たすことを具体的に確認し、方言資料の収集と分析能力を培い、高度な知識と多角的な研究視点を持った研究方法を演習形式によって身につけさせる。</p>	狩俣繁久
ことばと相互行為特論	2	<p>コミュニケーション行動が織りなす人物像や社会像、文化像を琉球を含む様々な言語共同体を取り上げて比較分析する。会話の組織化、談話の構造、ことばの文化的意味、スピーチの文化コード、文化的認知プロセスなどを対人間のことばと社会的相互行為を精査することによって明らかにする。また、こうしたテーマについてディスカッションを重ね、ことばと社会的相互行為の文化独自性や普遍性について考察する。英文の資料を用い、ディスカッションの一部は英語で行う。</p>	宮平勝行
ことばと相互行為演習	2	<p>ことばと社会的相互行為の研究方法には主として語用論、会話分析、(批判的)談話分析、相互行為分析、ことばの民族誌などが挙げられる。いずれかひとつあるいは複数のアプローチに焦点を当て、一連の研究プロセスを実践を通して学ぶ。さらに、各研究方法の哲学的基盤や理論的背景、課題、最新の傾向などについて琉球を含む多様な言語文化を対象にした事例研究を読み解きながら理解を深める。この授業は受講生によるフィールドレポートを中心に演習形式で行う。</p>	宮平勝行

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
アメリカマイノリティ文学特論	2	モダンからポストモダンの思潮の流れによって再構成されたアメリカ文学の批判体系によって再評価されるようになったいわゆる「マイノリティ」の作家や詩人のテキストについて研究する。書き手によって「マイノリティ」というアイデンティティーを定義する要素は異なるが、この科目では人種、言語、文化、階級、性、そしてセクシュアリティなどの概念にもとづいて「マイノリティ」とみなされる書き手のテキストにはどのような特徴や意義あるのかについて考察し、こうしたテキストが従来の伝統的アメリカ文学観をどのように踏襲しつつ変容させたものであるかについて検討していく。	喜納育江
アメリカマイノリティ文学演習	2	アメリカ文学の中において「マイノリティ」であるという自己認識がどのような文学テキストを生んでいるのかという点を念頭に置きつつ、アメリカの女性文学、アメリカ先住民民族文学、チカーノ（ナ）文学といったテキストにおいて、人種、言語、文化、階級、性、セクシュアリティといった要素が書き手の想像力と創造力にいかなる影響をもたらしているか、またアメリカ文学から発信されるそうした文学表現が、これからの世界観や人間像にどのような意味を付与していくのかについても考える。	喜納育江
沖縄民俗文化論特論	2	柳田国男や折口信夫以来の日本民俗学において、琉球・沖縄は特異な位置を占めてきた地域である。そのことをふまえ、日本民俗学の学史における沖縄の位置づけに留意しつつ、民間信仰や村落の祭祀組織、「家」あるいは門中組織などに関する諸問題を講義形式で学ばせる。特に久高島をめぐる諸問題を取り上げ、民俗事象に連動する歴史上の国家体制側の問題にも言及し、琉球・沖縄研究の他分野にまたがる論点や課題の所在にも注意を喚起したい。	赤嶺政信
沖縄民俗文化論演習	2	沖縄に関する民俗学分野の中から特定の論題を選び、そのテーマに関する先行研究の蓄積状況、あるいは研究の現段階や課題などについて、受講生による発表と討論形式の授業を行う。特に久高島をめぐる民俗学上の諸問題を取り上げ、担当教員の長年にわたる調査・研究の成果を示しつつ、琉球史や琉球文学等の他分野の研究にも連動する論点についても言及し、討論を行いたい。この授業を通じて、琉球・沖縄研究の一分野としての民俗学が果たす役割を考えたい。	赤嶺政信
アジア文化人類学特論	2	中国および東南アジア諸国を中心としたの文化人類学的研究。アジアの民族誌的研究を踏まえた文化人類学的方法論や研究動向について講義する。	稲村 務
アジア文化人類学演習	2	中国および東南アジアを中心とした文化人類学的研究について民族誌的研究や文化人類学的方法論について演習形式で学ばせる。	稲村 務

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
アジア物質交流史論特論	2	東アジアを中心にした物質交流史論に関する考古学研究の視点と方法を検討する。交流の考古学研究にあたっては、そのモノ自体の分析、すなわちモノの製作から使用、廃棄までの一連の流れの中で分析を行い、その時代性、地域性、背後にある人の活動、さらに交流による地域文化の変化を如何に読みとるかが問題である。琉球列島の歴史的展開の中でも、先史時代に遡って周辺地域との交流が重要な研究テーマとなっており、こうした東アジアにおける具体的な物質交流史を検討の対象とする。	後藤雅彦
アジア物質交流史論演習	2	交流の考古学研究にあたって、そのモノ自体の分析から時代性、地域性、背後にある人の活動、さらに交流による地域文化の変化を如何に読みとるかが問題である。そして、交流の場となった時代、地域は多様なものであり、アジアにおいても交流をテーマにした考古学研究は盛んである。そこで、演習形式を含め、多様な物質交流史の研究事例を検討しながら、交流のあり方に関する比較研究や方法論自体の検証を進め、物質交流史論の課題を検討する。	後藤雅彦
国際開発協力特論	2	発展途上地域における政治と経済の相互作用を、アジア太平洋地域諸国の発展戦略とそれに対する国際援助政策に焦点を当てて研究を深める。社会変動における政治と経済の相互作用、その地域社会への影響、それらを背景とする発展途上国における公共政策の分析を一方の軸とし、発展途上地域に対する先進諸国の政府・企業・NGOの協力政策（ODA、直接投資、開発協力など）の分析をもう一方の軸として、相互作用としての国際開発協力の全体像について、講義形式で理論を中心に扱う。この講義を通じて、沖縄・日本における国際協力の理論的、実践的貢献をなす教育となる。	星野英一
国際開発協力演習	2	発展途上地域における政治と経済の相互作用を、アジア太平洋地域諸国の発展戦略とそれに対する国際援助政策に焦点を当てて研究を深める。社会変動における政治と経済の相互作用、その地域社会への影響、それらを背景とする発展途上国における公共政策の分析を一方の軸とし、発展途上地域に対する先進諸国の政府・企業・NGOの協力政策（ODA、直接投資、開発協力など）の分析をもう一方の軸として、相互作用としての国際開発協力の全体像について、演習形式で事例研究を中心に扱う。この演習を通じて、沖縄・日本における国際協力の理論的、実践的貢献をなす教育となる。	星野英一
アジア国際関係史特論	2	第二次世界大戦以降の国際関係の歴史について、とくにアジア地域に焦点を当てながら分析する。アジアに関して、冷戦史の再検討がどの程度まで進んでいるか、アジアにおいて冷戦とは何であったか、アジアにおける冷戦の遺産とは何か、東アジア共同体の可能性と歴史認識問題についてなど、マクロ的視点から分析していく。現代の国際関係を理解することを通じて、沖縄・日本のこの地域での役割に関する知見が得られる。	金 成浩

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
アジア国際関係史演習	2	アジア冷戦史における重要なトピックについて詳細な検討を加える。例えば、朝鮮戦争・日ソ国交回復・中ソ対立・沖縄返還・ソ連のアフガン侵攻・韓ソ国交回復などを取り上げ、その研究史、史料公開状況・研究手法・学説の対立についてなど解説しながら、国際関係史における研究手法を解説する。沖縄・日本周辺における個別的に紛争に関する理解を深めることにより、この地域の平和へ寄与できる人材を養成する。	金 成浩
沖縄近現代文学特論	2	沖縄近現代文学に関する諸テーマに関して、歴史社会的背景と作品の構造と特質の関連とを検討する。	新城郁夫
沖縄近現代文学演習	2	沖縄近現代文学に関する諸テーマに関して、歴史社会的背景と作品の構造と特質との関連を理論的かつ実証的に考察する。	新城郁夫
環境思想特論	2	環境思想研究は、環境変化と社会、経済、政治、芸術の変動が相互に影響しあうという前提に成り立っている。本講義では主要なアメリカ環境思想を主軸に、政治、宗教、哲学、文学的言説をとおして多面的に構成される環境思想研究の研究史的基礎を学びながら、実際に沖縄に生成する個別・具体的課題を環境思想的観点から応用分析し、環境思想的研究方法を習得する。	山城 新
環境思想演習	2	本講義では、特にアメリカ環境思想を基礎づける理論的枠組みを学びつつ、実際に現代環境問題に関連づけながら、環境思想的課題と展望について考える。特に、第二次世界大戦以降のアメリカ覇権主義・帝国主義の関わりの中で形成される、アメリカ本土内外の事例、あるいは海域を介した環境問題などをとおして、環境問題の脱領域的側面を環境思想的に考える。	山城 新
島嶼環境経済特論	2	環境経済学の理論を基礎として、島嶼地域における環境と経済の関係を考察する。沖縄や多くの太平洋島嶼国のような小島嶼においては、大陸や大規模島嶼との比較において自然環境と経済との関係が非常に強い。自家消費用の食糧の供給源として、また観光資源として、自然環境を保全する必要性が認識されている反面、政治的・経済的に脆弱であるため、外国資本による観光開発や他国への漁業権の売却などが外貨獲得手段として行われ、自国の自然や海洋資源の衰退という結果を招いている例もある。こうした独特の状況を踏まえながら、島嶼における環境調和型経済社会を実現するための方策について検討する。	藤田陽子

授業科目名	単位数	講義等の内容	担当教員
島嶼環境経済演習	2	沖縄をはじめとする小島嶼国・地域を事例として、環境と経済の関係に関わる諸課題の現状を学び、問題解決の方策について検討する。ケース・スタディに重点を置き、環境経済学の視点を基礎としながら、理論と実際との整合性と乖離について検証し、具体的な問題解決策を探求する。講義は受講生の発表を中心に進め、受講生同士の議論を通して物事を多角的に考察する視野を養う。	藤田陽子
島嶼空間システム特論	2	島嶼空間をシステム（系）として捉え、外部からの様々なインパクトに対してどのように島嶼空間が対応しているかを、島嶼間システムと島嶼内システムの両面において、人口・交通流通、島嶼経済、島嶼社会そして島嶼振興の各事象に関して、理論的に検討する。	宮内久光
島嶼空間システム演習	2	島嶼空間をシステム（系）として捉え、外部からの様々なインパクトに対してどのように島嶼空間が対応しているかを、島嶼間システムと島嶼内システムの両面において、人口・交通流通、島嶼経済、島嶼社会そして島嶼振興の各事象に関して、巡検や現地調査をもとに検討する。	宮内久光
比較地域文化特論Ⅰ	2	学外非常勤講師による講義で、通常の学期か、もしくは集中講義の形式で行うものである。講義の内容は、比較地域文化論に関わるという枠内で、担当する講師の専門とする研究分野等を考慮して、講師と専攻内の世話人との間の協議によって決めるものとする。	未定
比較地域文化特論Ⅱ	2	学外非常勤講師による講義で、通常の学期か、もしくは集中講義の形式で行うものである。講義の内容は、比較地域文化論に関わるという枠内で、担当する講師の専門とする研究分野等を考慮して、講師と専攻内の世話人との間の協議によって決めるものとする。	未定
比較地域文化特論Ⅲ	2	学外非常勤講師による講義で、通常の学期か、もしくは集中講義の形式で行うものである。講義の内容は、比較地域文化論に関わるという枠内で、担当する講師の専門とする研究分野等を考慮して、講師と専攻内の世話人との間の協議によって決めるものとする。	未定
比較地域文化特論Ⅳ	2	学外非常勤講師による講義で、通常の学期か、もしくは集中講義の形式で行うものである。講義の内容は、比較地域文化論に関わるという枠内で、担当する講師の専門とする研究分野等を考慮して、講師と専攻内の世話人との間の協議によって決めるものとする。	未定

*比較地域文化総合演習Ⅰ～Ⅳの担当教員は、主査・副査として論文指導にあたる教員です。

*年度ごとに開設される授業科目については時間割配当表を配布します。

博士後期課程の出願書類所定用紙

下記の出願書類が添付されていますので、確認してください。

1. 入学志願票
2. 受験票（受験心得）
3. 写真票
4. 受験承諾書
5. 日本語力調査書
6. 相談申請書
7. 入学資格個別審査申請書
8. 出願理由書
9. 経歴書
10. 研究業績報告書
11. 研究経過報告書
12. 東日本大震災及び熊本地震により被災した志願者の検定料に関する特例措置について
13. 検定料免除申請書
14. 返還金払戻請求書
15. 検定料振込書
16. 志願者整理票
17. 受験票等送付用封筒
18. 出願書類提出用封筒

出願書類は、ミシン目から丁寧に切り離してください。

受験番号		※		一般，社会人 外国人留学生	
平成30年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所（博士後期課程）入学志願票					
フリガナ			国籍名 (外国籍を持つ者)	比較地域文化専攻	
氏名					
生年月日	昭和・平成	年	月	日	(満才) 平成30年4月1日現在 男・女
現住所	〒 - 携帯電話： メールアドレス：				
※大学から緊急連絡がある場合の連絡先を記入する。上記と同じ場合は，記入しなくてもよい。			〒 - TEL メールアドレス：		
受験科目	外国語科目			小論文	社会人及び外国人留学生特別選抜
本人以外 連絡先	氏名 現住所 TEL				志願者との続柄 ()
出願資格	立		大学院 (大学)	研究科 (学部)	専攻 (学科)
昭和・平成 年 月 修了・卒業 (修了・卒業見込)					
履 歴					
学 歴	年	月	日		
〔卒業等 以上校〕	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
職 歴	・	・	・		
	・	・	・		
	・	・	・		
上記のとおり相違ありません。					
平成 年 月 日 氏名					
㊟					

- 備考 (1) 記入の際は，本募集要項熟読の上，記入漏れのないようにすること。
(2) 「一般，社会人，外国人留学生欄」(右上)は，該当するものに○をつけること。
(3) ※印欄は，記入しないこと。
(4) 黒のボールペンを使用し，楷書で書くこと。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士後期課程)

写 真 票

受験番号	※	一般, 社会人 外国人留学生
フリガナ		性 別
氏 名	昭和・平成 年 月 日生	男・女
志望専攻	比較地域文化専攻	
受験科目	外国語科目	小 論 文
		社会人及び外国人 留学生特別選抜

※出欠欄

写真を貼る欄

○写真は、出願前
3ヶ月以内に撮影
した脱帽正面上半
身(4cm×3cm)とし
ます。
○写真の裏に氏名を
記入して貼付する
こと。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、
該当する選抜に○をつけること。
(注) ※印欄は、記入しないこと。

平成30年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究所
(博士後期課程)

受 験 票

受験番号	※	一般, 社会人 外国人留学生
フリガナ		性 別
氏 名	昭和・平成 年 月 日生	男・女
志望専攻	比較地域文化専攻	
受験科目	外国語科目	小 論 文
		社会人及び外国人 留学生特別選抜

写真を貼る欄

○写真は、出願前
3ヶ月以内に撮影
した脱帽正面上半
身(4cm×3cm)とし
ます。
○写真の裏に氏名を
記入して貼付する
こと。

「一般, 社会人, 外国人留学生欄」(右上)は、
該当する選抜に○をつけること。
(注) ※印欄は、記入しないこと。

き
り
と
ら
な
い
こ
と

受 験 心 得

- (1) 受験者は、試験開始 20 分前までに、各試験室前に集合すること。
- (2) 試験開始後 30 分以上遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

試験 期 日 及 び 試 験 場 (博士後期課程)

期 日	科 目	時 間	場 所	備 考
平成 30 年 2 月 10 日 (土)	外国語科目	10:00 ┆ 12:00	文系総合研 究棟	一般選抜の 受験者のみ
	小 論 文	10:00 ┆ 12:00	〃	社会人及び 外国人留学生特 別選抜の受験者
	口 述 試 験	13:30 ┆	〃	全 員

受験承諾書（博士後期課程）

平成 年 月 日

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

受験者の職名

氏名

上記の者が、貴大学院人文社会科学研究科を受験することを承諾します。

氏 名

印

本人との関係

事業所等名

現 住 所

電 話 ()

日本語力調査書（博士後期課程）

志願者氏名 _____ 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

志願者住所 _____

志願者の母国語 _____

*該当する事項の番号を○印で囲む。

I 聴 解 力

1. 理解できない。
2. ゆっくりはっきり話せば理解できる。
3. まあまあ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

II 会 話 力

1. 少しも話せない。
2. 意志の伝達はできる。
3. ある程度話せる。
4. すらすら話せる。

III 読 解 力

1. 全く理解できない。
2. やや理解できる。
3. おおよそ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

IV 作 文

1. 全く書けない。
2. やさしい文章は書ける。
3. まとまった文章が書ける。
4. 論理的な文章が書ける。

V 所見（大学の講義をうける能力等，総合的な評価）

以上のとおり調査報告します。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

調査者勤務先 _____

調査者職名 _____

調査者氏名（自署） _____ 印

注 この調査書は、高等学校又は大学において日本語を教授している者，政府又は公共団体の責任ある職員にあって日本語を十分理解できる者，若しくは各国在日本大使館員職員によるものでなければなりません。

平成 年 月 日

琉球大学大学院 人文社会科学研究科長 殿

相 談 申 請 書

貴大学院人文社会科学研究科（博士後期課程）入学者選抜試験を受験するに際して、下記のとおり相談を申請します。

記

1. 志願者^{フリガナ}氏名： _____ 印
昭和・平成 年 月 日生 男・女
平成 30 年 4 月 1 日現在満 歳
2. 志望専攻：比較地域文化専攻
3. 出身学校名：
平成 年 月 日 修了・修了見込
4. 住所〒
電話（ ） —
5. 障がいの程度：
6. 受験上及び修学上希望する措置：
7. 添付資料：診断書，身体障がい者手帳（写）

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究科 [博士後期課程]
入 学 資 格 個 別 審 査 申 請 書

琉球大学大学院人文社会科学研究科長 殿

私は、大学院入学資格の個別審査を受けたいので、申請します。

専攻	比較地域文化専攻
フリガナ氏名	印
フリガナ住所	〒 - TEL () -
添付書類	①出願理由書 (本学所定の用紙) ②経歴書 (本学所定の用紙) ③最終学校の成績証明書 ④最終学校の卒業 (修了) 証明書又は在籍証明書 ⑤研究業績報告書・様式 1 (本学所定の用紙) ⑥研究経過報告書・様式 2 (本学所定の用紙) ⑦返信用封筒 [長形 3 号, 362 円切手貼付]

(出願資格個別審査用)

平成 年 月 日

平成 30 年度 琉球大学大学院人文社会科学研究所 [博士後期課程]
経 歴 書

氏 名 印
性 別 男 女
生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日

最終学校 (卒業・修了) 年月

年 月～ 年 月	卒業・修了
----------	-------

上記卒業 (修了) 後の職歴 (実務経験), 学習歴及び活動歴がある場合は, 年代順にその内容についても詳しく記入してください。

期間 (年 月～ 年 月)	内 容

研究業績報告書 (博士後期課程)

様式1 (出願資格個別審査用)

氏名		著書名, 論文名及びその概要を以下にまとめること。			
著書, 論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表 の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表 学会等の名称		概要

著書，論文等の名称	単著， 共著の別	発行又 は発表 の年月	発行所，発表雜 誌等又は発表 学会等の名称		概 要

東日本大震災及び熊本地震により被災した平成30年度琉球大学入学者選抜試験 志願者の検定料に関する特例措置について（博士後期課程）

琉球大学では、平成30年度大学院入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

1. 特例措置の対象

平成30年度大学院入試

2. 措置内容

検定料の免除：30,000円

3. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
① 東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

4. 申請の方法

入試区分	申請方法
○大学院入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。 また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて法文学部・観光産業科学部学務担当へ申請してください。 申請後、検定料を返還します。

※ 返還金払戻請求書の提出期限は、平成30年3月30日（金）までとします。

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 法文学部・観光産業科学部学務担当

電話（098）895-8184

検定料免除申請書（博士後期課程）

平成 年 月 日

国立大学法人

琉球大学長 殿

(請求者)

受付番号（大学側で記入）

入学者選抜試験の種類

■大学院入試

出願研究科 琉球大学大学院 人文社会科学研究科

出願専攻 専攻

フリガナ

志願者氏名

印

住 所 〒

電 話

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び平成28年4月14日に発生した熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、被災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

全壊 大規模半壊 半壊 流出

学費負担者死亡又は行方不明

福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)

この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

返還金払戻請求書(博士後期課程)

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号 _____

私が平成 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込みを受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 東日本大震災及び5. 熊本地震において被災を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書をご同封ください。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL:098-895-8058

記入上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関取納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学用）」は「出願書類に同封して提出してください」。

※人文社会科学研究所 博士後期課程

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年 月 日	
金額	¥30,000—	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料
※（志）依頼者人	※募集区分 711 ※（フリガナ） 氏名	金額 現金 内訳
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所（博士後期課程）	受取人 琉球大学 口座名 国立大学法人 琉球大学 ※（志）依頼者人（フリガナ） 氏名	



（取扱店→振込人→大学）

（振込前に志願者で切離し）

※依頼日	年 月 日	
振込金額	¥30,000—	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料
※（志）依頼者人	受取人 琉球大学 口座名 国立大学法人 琉球大学 ※（フリガナ） 氏名	金額 現金 内訳
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所（博士後期課程）	取扱店へのお願 ○○太枠内をお願い ○募集区分番号、フリガナの順に打電してください。 （振込時金融機関で切離し）	

上記のとおり領収しました。



（取扱店→振込人）

検定料振込書

振込依頼書

※依頼日	年 月 日	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料
※（志）依頼者人	※募集区分 711 ※（フリガナ） 氏名	金額 現金 内訳
平成30年度 琉球大学 検定料 人文社会科学研究所（博士後期課程）	取扱店へのお願 ○○太枠内をお願い ○募集区分番号、フリガナの順に打電してください。 （振込時金融機関で切離し）	

※（住所）

（電話番号）

平成30年度 琉球大学 検定料
人文社会科学研究所（博士後期課程）
【納入期間】
平成30年1月 4日（木）から
平成30年1月19日（金）まで



（取扱店用）

志願者整理票【博士後期課程】

(注) この整理票は、シール式(太枠部分)になっているので、はがれないように取り扱うこと。

志願者氏名() 楷書で枠からはみ出さないように記入してください。

受験番号 (記入しないこと)	志願者氏名 (下にフリガナをつけること。)	性別	出身学校が所在する都道府県 又は国名	出身学校の名称 (下にフリガナをつけること。)
※				

合格通知書送付先 (合格通知書送付先の郵便番号、住所、氏名を楷書で正確に取り扱うこと。
団地の棟番号、戸番や下宿先の〇〇方なども必ず記入すること。)

(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

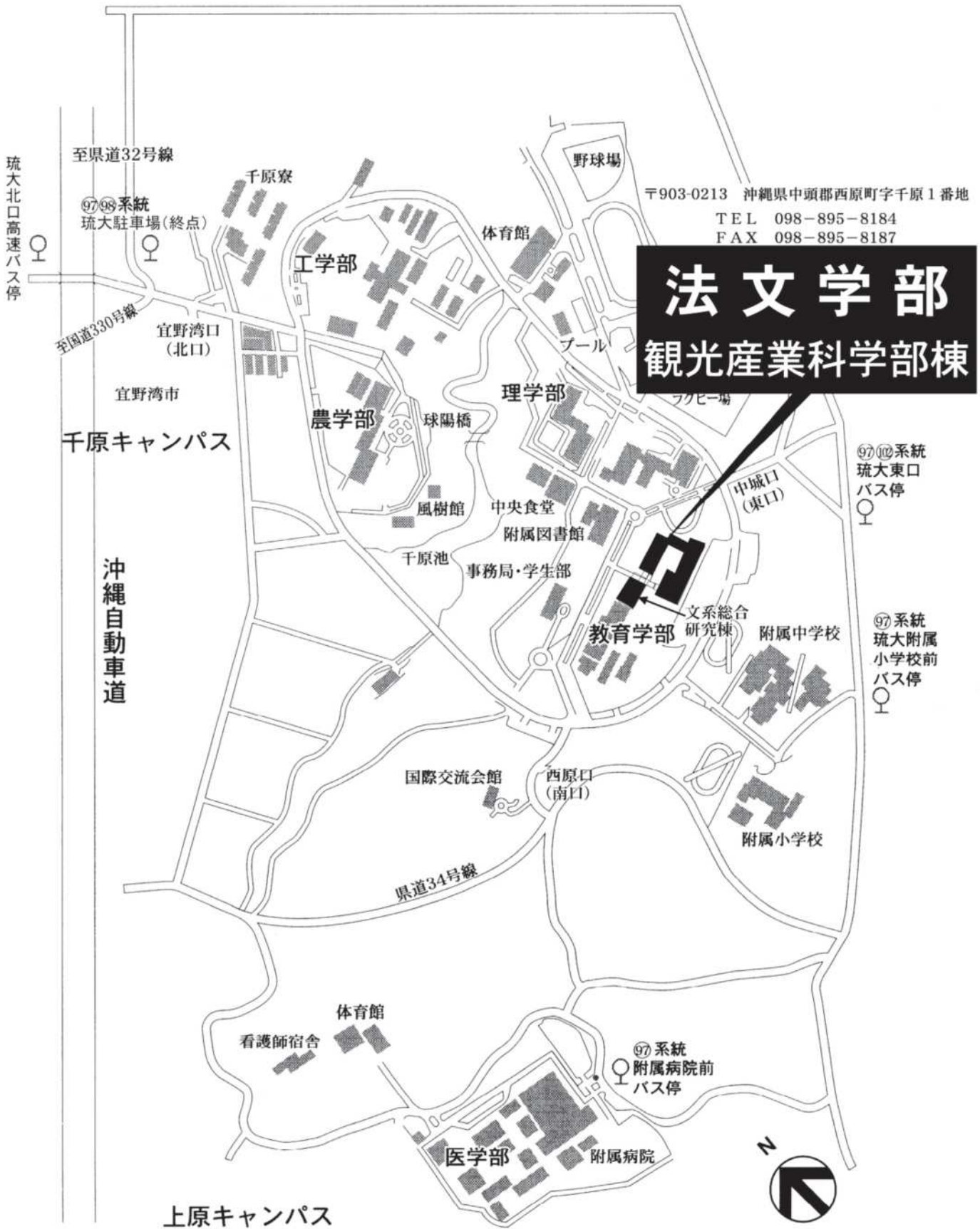
※ 印欄は記入しないこと。

入学手続通知送付先

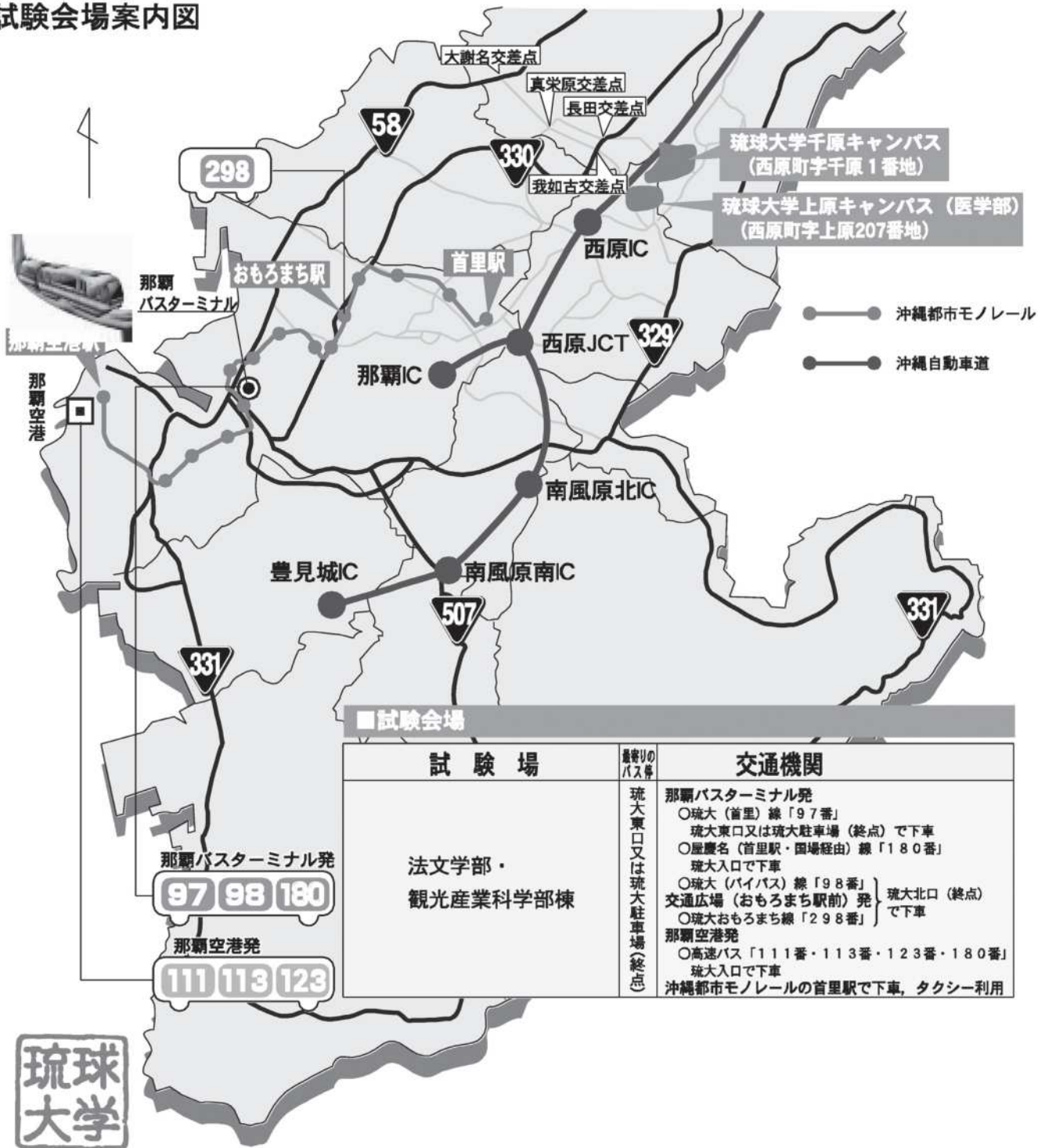
(〒 -)
住所.....
.....
氏名..... 殿
(受験番号※)
.....

※ 印欄は記入しないこと。

建物配置図



琉球大学(千原キャンパス) 試験会場案内図



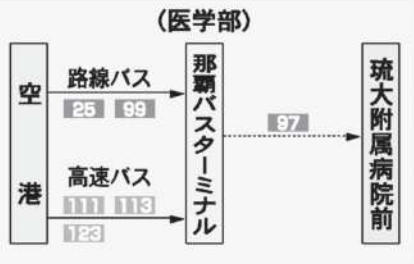
■試験会場	
試験場	交通機関
法文学部・ 観光産業科学部棟	<p>那覇バスターミナル発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○琉大(首里)線「97番」 琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車 ○屋慶名(首里駅・国場経由)線「180番」 琉大入口で下車 ○琉大(バイパス)線「98番」 交通広場(おもろまち駅前)発 ○琉大おもろまち線「298番」 <p>琉大北口(終点)で下車</p> <p>那覇空港発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高速バス「111番・113番・123番・180番」 琉大入口で下車 <p>沖縄都市モノレールの首里駅で下車、タクシー利用</p>



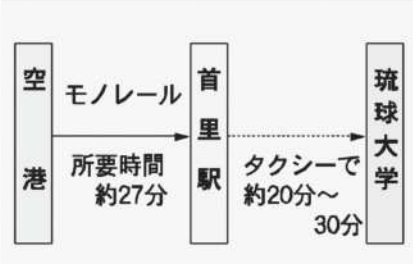
■空港からバスで琉球大学へ



■空港からモノレールで琉球大学へ



■空港からモノレールで琉球大学へ



速達

住所・氏名
を明記し、
362円切手
を貼付して
ください。

--	--	--	--	--	--	--

人文社会科学
研究科

受験票在中

殿

国立大学法人琉球大学
法文学部・観光産業科学部
学務担当

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098 (895) 8184

※

9 0 3 0 2 1 3

沖縄県中頭郡西原町字千原一番地

国立大学法人

琉球大学法文学部・観光産業科学部

学務担当行

所要の切手
貼付欄

人文社会科学研究科 出願書類在中

書留

平成30年度

差 出 人 (志 願 者)	志望研究科等	人文社会科学研究科	専攻
	住 所	〒 - - 電話 (- -)	
	氏 名		受験番号 (未記入)